

平成 21 年度 事業報告書

〔 自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日 〕

社団法人 日本船用工業会

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| 第1章 組織の概要 | 1 |
| 1. 会 員 | 1 |
| (1) 入 会 | 1 |
| (2) 会社名の変更 | 1 |
| 2. 役 員 | 2 |
| (1) 新任役員 | 2 |
| (2) 会長・副会長・常勤役員 | 2 |
| (3) 指定代表者の変更に伴う年度内の異動 | 2 |
| 3. 評 議 員 | 3 |
| (1) 新任評議員 | 3 |
| (2) 指定代表者の変更に伴う年度内の異動 | 3 |
| 4. 指定代表者の変更 | 4 |
| 5. 最高顧問及び顧問 | 5 |
| 6. 事 務 局 | 5 |
| (1) 事 務 所 | 5 |
| (2) 組 織 | 5 |
| 第2章 事業の概要 | 6 |
| 1. 経営・生産基盤の整備に関する事業 | 6 |
| (1) 「日船エアクションプラン」の策定 | 6 |
| (2) 業界内及び関係業界との交流連携の促進 | 6 |
| (3) ユーザー業界等と連携した具体的な取り組み | 14 |
| (4) 人材確保・養成対策の推進 | 15 |
| (5) 船用工業製品の模倣品対策の推進 | 19 |
| (6) 船用工業の経営基盤強化に関する事業 | 20 |
| (7) 船用機器標準化の推進 | 20 |
| (8) 船用工業の統計資料の整備 | 21 |
| (9) PL対策の推進 | 21 |
| 2. 環境問題への対応に関する事業 | 21 |
| 3. 研究開発等の活性化に関する事業 | 23 |
| (1) 新製品開発活性化のための支援事業 | 23 |
| (2) 船用技術に係る国際的な動向への対応 | 26 |

| | |
|-------------------------------------------|----|
| 4. 国際化への対応に関する事業 | 26 |
| (1) グローバル展開の環境整備 | 26 |
| (2) 船用工業の海外海事展への参加等による海外宣伝の充実（日本財団助成事業） | 26 |
| (3) 船用工業海外セミナーの開催（日本財団助成事業） | 29 |
| (4) SEA JAPAN2010国際海事展への参加準備 | 29 |
| 5. 協力事業 | 30 |
| (1) 造船関連海外情報収集及び海外業務協力（（財）日本船舶技術研究協会への協力） | 30 |
| (2) 艦船用電気機器に関する調査研究（防衛省への協力） | 31 |
| 6. 一般事業 | 31 |
| (1) 公益法人改革等への対応 | 31 |
| (2) 会員サービスの充実 | 32 |
| (3) 関係機関・団体との連絡協調 | 33 |
| (4) 広報活動 | 33 |
| (5) 表彰に関する業務 | 34 |
| (6) 見学会、懇親会等の開催 | 35 |
| (7) その他 | 35 |
| 7. 会議の開催 | 36 |
| (1) 総会 | 36 |
| (2) 理事会 | 36 |
| (3) 評議員会 | 39 |
| (4) 政策委員会 | 40 |
| (5) 業種別部会 | 42 |
| (6) 事業別委員会 | 43 |
| (7) 特別委員会 | 43 |
| (8) 協議会・研究会等 | 44 |

[付 表]

| | |
|---------------------|----|
| 1. 会員及び賛助会員名簿 | 45 |
| 2. 役員名簿 | 48 |
| 3. 評議員名簿 | 50 |
| 4. 最高顧問及び顧問名簿 | 52 |
| 5. 委員会名簿 | 53 |
| 6. 他団体の委員会等への参加状況一覧 | 68 |
| 7. 機構図 | 71 |
| 8. 事務局組織及び事務分掌図 | 72 |

第1章 組織の概要

1. 会 員

本年度末における会員数は、普通会員231、賛助会員52である。(付表1.「会員及び賛助会員名簿」に記載のとおり。)

なお、年度中の会員の異動等は、次のとおりである。

(1) 入 会 (普通会員7社、賛助会員2社)

1) 普通会員

| | |
|---------------------|----------------|
| 株 ケ イ ア ン ド ケ イ | (平成21年 5月21日付) |
| 品 川 重 工 株 | (平成21年 5月21日付) |
| 北 海 道 ニ チ モ ウ 株 | (平成21年 5月21日付) |
| (有) エ ム ・ エ ス ・ ワ イ | (平成21年 7月16日付) |
| 株 東 化 工 | (平成21年12月17日付) |
| 原 田 産 業 株 | (平成22年 3月25日付) |
| 株 横 浜 通 商 | (平成22年 3月25日付) |

2) 賛助会員

| | |
|-------------|----------------|
| 本 瓦 造 船 株 | (平成21年10月29日付) |
| 堺 化 学 工 業 株 | (平成22年 3月25日付) |

(2) 会社名の変更

| (新) | (旧) | |
|-------------|-----------------------|---------------|
| 日 立 造 船 株 | 日立造船ディーゼルアンドエンジニアリング株 | (平成21年 4月1日付) |
| 株 相 浦 機 械 | 辻 産 業 株 | (平成21年 7月1日付) |
| ミカドジャパン株 | ミカドプロペラ株 | (平成21年10月1日付) |
| キャタピラージャパン株 | キャタピラーパワーシステムズインク日本支社 | (平成22年 1月1日付) |

2. 役員

本年度末における役員は、理事55名（うち、会長1名、副会長5名、専務理事1名、常務理事2名）、監事3名の合計58名である。（付表2.「役員名簿」に記載のとおり。）

なお、平成21年5月21日の第44回通常総会において、任期満了に伴う役員の改選が行われ、以下(1)のとおり新任理事8名、新任監事2名が新たに選出され、それ以外は重任となった。また、同日開催された臨時理事会において、下記(2)のとおり会長、副会長、常勤役員が選出された。

(1) 新任役員（順不同、敬称略）

| (就任役職名) | (代表者名) | (所属会社名) |
|---------|---------|-------------------|
| 理 事 | 宇津木 洋 三 | (株) 宇 津 木 計 器 |
| 〃 | 照 沼 國 臣 | (株) 湘 南 工 作 所 |
| 〃 | 島 井 勝 弘 | 日 新 興 業 (株) |
| 〃 | 栄 野 隆 | (株)日立ニコトランスミッション |
| 〃 | 古 野 幸 男 | 古 野 電 気 (株) |
| 〃 | 大 日 常 男 | 山 科 精 器 (株) |
| 〃 | 北 村 正 一 | 常 勤 |
| 〃 | 小 坂 光 雄 | 常 勤 |
| 監 事 | 竹 内 誠 | (株)サクシヨン瓦斯機関製作所 |
| 〃 | 山 田 益 | (株) テ ィ ー ビ ー エ ム |

(2) 会長・副会長・常勤役員（敬称略）

| (就任役職名) | (代表者名) | (所属会社名) |
|---------|---------|------------------------|
| 会 長 | 赤 阪 全 七 | (株) 赤 阪 鐵 工 所 (重任) |
| 副 会 長 | 石 橋 徳 憲 | ダイハツディーゼル(株) (重任) |
| 〃 | 藤 本 幸 延 | 富 士 貿 易 (株) (重任) |
| 〃 | 板 澤 宏 | か も め プ ロ ペ ラ (株) (重任) |
| 〃 | 畑 山 哲 三 | ヤ ン マ ー (株) (新任) |
| 〃 | 筒 井 幹 治 | (株) シ ン コ ー (新任) |
| 専 務 理 事 | 北 村 正 一 | 常 勤 (新任) |
| 常 務 理 事 | 辻 一 郎 | 常 勤 (重任) |
| 〃 | 小 坂 光 雄 | 常 勤 (新任) |

(3) 指定代表者の変更に伴う年度内の異動（敬称略）

| (所属会社名) | (新代表者) | (旧代表者) | (異動年月日) |
|------------------|---------|---------|----------------|
| (株)日立ニコトランスミッション | 栄 野 隆 | 森 本 雅 昭 | (平成21年 4月 1日付) |
| 日 新 興 業 (株) | 島 井 勝 弘 | 千 種 一 成 | (平成21年 5月12日付) |

| | | | |
|--------------|------|------|----------------|
| 古野電気(株) | 古野幸男 | 古野清之 | (平成21年 5月20日付) |
| 三井造船(株) | 田中孝雄 | 櫻井 眞 | (平成21年 6月26日付) |
| 日本ピストンリング(株) | 高橋重夫 | 吉永 汎 | (平成21年 6月28日付) |

3. 評議員

本年度末における評議員は、常任評議員25名、評議員35名の合計60名である。(付表3.「評議員名簿」に記載のとおり。)なお、平成21年5月21日の第44回通常総会において、任期満了に伴う評議員の改選が行われ、以下(1)のとおり新任常任評議員6名、新任評議員6名が新たに選出された。

(1) 新任評議員 (順不同、敬称略)

| (就任職名) | (代表者名) | (所属会社名) |
|--------|---------|-------------------|
| 常任評議員 | 本 田 圭 佑 | (株)エヌゼットケイ |
| 〃 | 浅 野 雄 一 | 川 崎 重 工 業 (株) |
| 〃 | 中 川 司 | (株)ケーイーアイシステム |
| 〃 | 富 田 幸 雄 | ジャパンハムワージ(株) |
| 〃 | 高 橋 久 雄 | 日 鍛 バ ル ブ (株) |
| 〃 | 古 川 実 | 日 立 造 船 (株) |
| 評 議 員 | 大 石 哲 也 | 大 石 電 機 工 業 (株) |
| 〃 | 安 部 研 | (株)大阪アサヒメタル工場 |
| 〃 | 十 万 幹 雄 | 神 威 産 業 (株) |
| 〃 | 村 井 悦 夫 | (株)日 本 製 鋼 所 |
| 〃 | 森 徹 | モ リ マ シ ナ リ ー (株) |
| 〃 | 猪野塚 正明 | (株) 山 武 |

(2) 指定代表者の変更に伴う年度内の異動 (敬称略)

1) 常任評議員

| (所属会社名) | (新代表者) | (旧代表者) | (異動年月日) |
|-------------------|---------|---------|-----------------|
| (株)IHI回転機械 | 根 本 徹 | 水 品 誠一郎 | (平成21年 4月 1日付) |
| 川 崎 重 工 業 (株) | 浅 野 雄 一 | 長 谷 川 聰 | (平成21年 4月 1日付) |
| 日 立 造 船 (株) | 古 川 実 | 澤 田 賢 司 | (平成21年 4月 1日付) |
| 日 鍛 バ ル ブ (株) | 高 橋 久 雄 | 奥 見 浩 二 | (平成21年 5月 20日付) |
| 三井造船マシナリー・サービス(株) | 黒 瀬 外 善 | 遠 山 望 | (平成21年 6月 26日付) |
| ミカドジャパン(株) | 中 島 祐 介 | 河 野 純 也 | (平成21年 10月 1日付) |
| 三井ミーンハナイト・メタル(株) | 竹 中 厚 二 | 内 田 省 寿 | (平成21年 12月 1日付) |

2) 評 議 員

| (所属会社名) | (新代表者) | (旧代表者) | (異動年月日) |
|---------------|---------|------------|----------------|
| ボ ッ シ ュ (株) | 織 田 秀 明 | スチファン・ストカー | (平成21年 4月 1日付) |
| (株) 山 武 | 猪野塚 正 明 | 下 田 貫一郎 | (平成21年 4月 1日付) |
| (株) 日 本 製 鋼 所 | 村 井 悦 夫 | 打 越 光 弘 | (平成21年 5月20日付) |
| 大石電機工業(株) | 大 石 哲 也 | 大 石 幸 明 | (平成21年 5月20日付) |
| 日本プスネス(株) | 大 塚 正 | 蒲 原 幸 紀 | (平成21年 6月25日付) |
| フジオーゼックス(株) | 宮 本 明 義 | 野 地 俊 廣 | (平成21年 6月26日付) |

4. 指定代表者の変更

理事、監事、常任評議員、評議員以外の指定代表者の異動は、次のとおりである。(敬称略)

1) 普通会員

| (所属会社名) | (新代表者) | (旧代表者) | (異動年月日) |
|----------------|---------|---------|----------------|
| (株) 松 原 鐵 工 所 | 竹 村 三輝雄 | 奥 田 稔 | (平成21年 6月20日付) |
| 日本ペイントマリン(株) | 佐々木 信 廣 | 遠 藤 志 朗 | (平成21年 6月24日付) |
| シンコウ・エスピーエー(株) | 信 太 明 人 | 野 上 浩 | (平成21年 6月26日付) |
| (株) 日 阪 製 作 所 | 村 上 壽 憲 | 林 正 一 | (平成21年 6月26日付) |
| (株)大阪送風機製作所 | 佐 藤 征 彦 | 平 野 政 吉 | (平成21年 7月 1日付) |
| 岡 野 電 線 (株) | 上 倉 康 弘 | 松 原 邦 弘 | (平成21年 7月 1日付) |
| (株) 相 浦 機 械 | 小 林 正 宜 | 小 杉 丈 夫 | (平成21年 7月 1日付) |
| 日本光機工業(株) | 大 上 周 作 | 上 野 紘 | (平成21年 8月 1日付) |
| キャタピラージャパン(株) | 平 野 昭 一 | 地 道 信 清 | (平成22年 1月 1日付) |
| ガイスリンガー(株) | 籾 周 作 | 横 瀬 恭 夫 | (平成22年 1月 1日付) |
| (株)石倉ポンプ製作所 | 石 倉 一 親 | 石 倉 秀 雄 | (平成22年 3月18日付) |

2) 賛助会員

| (所属会社名) | (新代表者) | (旧代表者) | (異動年月日) |
|--------------------|-----------|-----------|----------------|
| (財)日本造船技術センター | 徳 留 健 二 | 山 本 孝 | (平成21年 4月 1日付) |
| 東 京 海 洋 大 学 | 和 泉 充 | 刑 部 真 弘 | (平成21年 4月 1日付) |
| 神 戸 舶 用 工 業 会 | 金 澤 伊 佐 夫 | 白 石 保 典 | (平成21年 4月24日付) |
| (社)日本マリンエンジニアリング学会 | 高 崎 講 二 | 矢 吹 捷 一 | (平成21年 5月13日付) |
| (社)海洋水産システム協会 | 藤 田 純 一 | 土 屋 孟 | (平成21年 5月25日付) |
| (社)日本船舶機関士協会 | 武 田 和 彦 | 大 内 博 文 | (平成21年 5月27日付) |
| 関 東 舶 用 工 業 会 | 東 一 夫 | 宇 津 木 洋 三 | (平成21年 6月16日付) |
| (社)日本船主協会 | 宮 原 耕 治 | 前 川 弘 幸 | (平成21年 6月17日付) |
| (社)日本造船工業会 | 元 山 登 雄 | 田 崎 雅 元 | (平成21年 6月21日付) |

| | | | |
|----------------|---------|---------|----------------|
| 商船三井テクノトレード(株) | 原 田 英 博 | 岡 野 和 一 | (平成21年 6月23日付) |
| 住 友 商 事 (株) | 新居田 達 雄 | 桜 井 知 治 | (平成21年 7月 1日付) |
| 漁 船 保 険 中 央 会 | 上 野 新 作 | 山 内 静 夫 | (平成21年 7月 1日付) |
| 日本内燃機関連合会 | 浅 野 雄 一 | 雨 森 宏 一 | (平成21年 7月 1日付) |
| (株)大島造船所 | 南 浩 史 | 中 川 齊 | (平成21年 7月 9日付) |

5. 最高顧問及び顧問

5月21日開催の第235回理事会において、任期満了に伴う顧問の選出が行われ、山田澤三氏(当会元副会長)が退任し、他の6名の方に引き続き顧問を委嘱することが議決された。また、第44回通常総会において専務理事を退任した山下暁氏が同日行われた臨時理事会において顧問に就任した。

なお、山下顧問は、12月21日付を以て顧問を辞任したため、本年度末における最高顧問は1名、顧問は6名である。(付表4.「最高顧問及び顧問名簿」に記載のとおり。)

6. 事務局

(1) 事務所

本年度末における事務所は、次の1ヵ所を使用し、年度中における変更はなかった。

東京都港区虎ノ門一丁目15番16号(海洋船舶ビル) 電話：03-3502-2041

(2) 組 織

本年度末における事務局の機構、組織及び事務分掌は、付表7.「機構図」及び、付表8.「事務局組織及び事務分掌図」に記載のとおりである。

第2章 事業の概要

我が国船用工業を取り巻く環境は、世界的な景気後退に伴う、海運市況の低迷で海運各社の業績にも大きな陰りが出ている。このため、造船市場の低迷から新規受注が停滞した状況にあり、韓国等の造船所が受注に向けての動きを活発化するなど、造船市況への影響が懸念されているところである。当業界においては、当面の工事量は確保しているものの、海運市況の大幅な落ち込み、造船市場の低迷等先行きの不透明感から将来の見通しの立たない状況が続いているところである。こうした中で、我が国の船用機器の生産額は、ここ数年、高い伸びが続いていたが、平成21年の生産額は、約1兆円前後が見込まれる。また、排ガス規制、地球温暖化対策等の国際的な環境規制の強化、円高、原材料の高止まり、人材問題等への対応等、各企業はこうした内外の環境変化への適切な対応が求められている。

このような状況の下で、当業界は、信頼性の高い製品を内外のユーザーに安定的に供給していくために、ユーザー業界等との連携を密にし、グローバルな視点に立って、新製品開発等を推し進める等、国際競争力の強化を図っていく必要がある。このため、平成21年度は、経営・生産基盤の整備、環境問題への対応、研究開発等の活性化、国際化への対応を事業の柱として、「日舶エアクションプラン（2009年）」（平成21年2月策定）に基づき、引き続きIMO第3次規制に対応したスーパークリーンマリンディーゼルの開発、人材確保・養成対策をより一層推進するほか、新製品開発活性化のための支援事業を行うなど、以下の事業を鋭意実施したところである。

なお、これらの事業の推進にあたっては、主務官庁の適切なご指導と日本財団からの絶大なご支援、海運・造船等関係業界の多大なご理解とご協力をいただいた。とりわけ、平成21年度においても日本財団からの特段のご配慮により、競艇公益資金による多大なご援助を賜った。

1. 経営・生産基盤の整備に関する事業

(1) 「日舶エアクションプラン」の策定

平成22年2月の政策委員会において、「日舶エアクションプラン（2009年）」の実施状況を報告するとともに、平成22年度に向けた「日舶エアクションプラン（2010年）」を策定した。

(2) 業界内及び関係業界との交流連携の促進

1) 政策委員会等の活性化

① 政策委員会関係

○ 第222回政策委員会（7月16日 大阪 ホテルグランヴィア 名庭の間）

- ・任期満了に伴い、委員長の互選を行い、石橋委員長（ダイハツディーゼル(株)・会長）が再任された。また、委員では、古野清之氏（古野電気(株)・会長）に替わり 古野幸男氏（古野電気(株)・社長）が、中北健一氏（株中北製作所・社長）が新たに委員に加わった。
- ・国土交通省の今出船舶産業課長より「我が国造船・船用工業の今後の針路」について説明があり、意見交換を行った。

- 第223回政策委員会（10月9日 東京 東海大学校友会館 阿蘇の間）
 - ・平成22年度日本財団への助成事業申請案、各小委員会の検討状況、景況感調査結果等について説明を行った。また、小委員会において、国際展示会等における当会スタンドロゴマークが決定した旨報告した。また、シップリサイクル条約の概要について説明を行った。

- 第224回政策委員会（2月18日 東京 東海大学校友会館 霞の間）
 - ・平成22年度日本財団助成事業の内示について報告を行うとともに、「日舶工アクションプラン（2010年）」の策定を行った。
 - ・「環境問題に対応した船用機器開発に関する勉強会」についての実施状況及び今後の進め方について報告した。
 - ・公益法人改革に伴い一般社団法人への移行作業スケジュール等申請計画案について報告した。政策委員会の下に「公益法人制度改革検討小委員会」（仮称）を設置し、小委員長には畑山副会長に就任していただくこととした。
 - ・同委員会の下部組織である「グローバル戦略検討小委員会」の進捗状況について報告するとともに、意見交換を行った。

② 小委員会関係

- 技術開発戦略検討小委員会
 - 第21回（2月18日 東京）
 - ・平成21年度の新製品開発支援事業等の進捗状況並びに平成22年度の日本財団へ申請した新製品開発支援事業について報告するとともに、今後の技術開発のあり方等について意見交換を行った。

- グローバル戦略検討小委員会（2回開催）
 - 第15回（5月12日 東京）
 - ・インドセミナーの開催等、平成21年度国際関係事業について説明を行った。また、国際展示会等における当会スタンドロゴマーク等の検討を開始する旨説明をした。
 - ・第15回の委員会の決定に基づき、国際展示会等における当会スタンドロゴマーク等の候補デザインの評価を全委員に書面にて依頼し、シンボルマーク（下記参照）を決定し、委員宛通知した。

ロゴマーク



第16回（2月17日 横浜）

- ・平成21年度事業の実施報告を行うとともに、平成22年度事業計画について審議した。
- ・平成22年度日本財団助成事業の内々示について報告し、ブラジルに於いて行う予定だった「船用工業海外セミナー」の査定結果を受け、改めて事業実施等について再検討することとした。
- ・当工業会の国際関係事業のより一層の効果をを得ることを目的に、展示会やセミナーの実施方法等を多角的に検討する場として、本委員会の下部組織として「展示会等WG」を設立することについて審議し、了承された。

○ 人材確保・養成対策検討小委員会第10回（2回開催）

第10回（9月17日 東京）

- ・平成21年度の船用マイスターの認定、寄付講義、社会人教育（乗船研修、船用講座「海運・造船概論」並びに「船用実践英語（サービスエンジニアのための実践英語）」、業界説明会等の事業の実施方法等について検討を行った。

第11回（3月10日 東京）

- ・平成21年度事業の実施報告と、平成22年度事業の実施計画の検討を行った。

③ 業種別部会等

（機関関係）

○ 大形機関部会（2回開催）

- ・7月に第3回部会を開催し、業界を取り巻く諸問題及び業況等に関して意見交換・情報交換を行った。
- ・11月に第4回部会を中形機関部会と合同で開催し、最近の業界を取り巻く諸問題、外国エンジンメーカーの動向等に関して意見交換・情報交換を行った。また、以下の講演会を行った。

演題：商船三井の次世代船構想 一船舶維新一

（株）商船三井 技術部計画開発グループマネジャー 清水 洋一 氏

○ 中形機関部会（2回開催）

- ・7月に第11回部会を開催し、業界を取り巻く諸問題に関して意見交換、情報交換を行った。また、機関の検査の合理化について、国土交通省から説明があった
- ・11月に第12回部会を大形機関部会と合同で開催し、最近の業界を取り巻く諸問題、外国エンジンメーカーの動向等に関して意見交換・情報交換を行った。また、以下の講演会を行った。

演題：商船三井の次世代船構想 一船舶維新一

（株）商船三井 技術部計画開発グループマネジャー 清水 洋一 氏

○ 大形機関業務委員会（2回開催）

- ・7月に第162回委員会を開催し、平成20年度の出荷状況等について意見交換を行った。

- ・ 3月に合同委員会を開催し、平成22年2月に開催されたIMO・BLG14において検討されたSCR認証ガイドラインへの対応について、(独)海上技術安全研究所 村岡上席研究員及び業界代表として出席した島田大形機関技術委員(三井造船株)、折野中形機関技術委員(ヤンマー株)から説明があり、意見交換を行った。続いて、国土交通省から、MEPC60への対応について説明があり、意見交換を行った。引き続き、国土交通省から、NOx二次規制に関する国内法について説明があり、意見交換を行った。

○ 小形高速機関技術委員会 (1回開催)

- ・ 10月に小形高速機関技術委員会を開催し、NOx二次規制の国内対応について意見交換を行った。

○ 船用燃料油検討小委員会 (5回開催)

- ・ 4月に第9回小委員会を開催し、BLG13の審議結果について、新潟原動機株川上氏から説明があり、意見交換を行った。また、ISO/TC28/SC4/WG6で審議された船用燃料油に関するISO規格の改定等について、日本油化工業株宮野主任研究員から説明があり、意見交換を行った。
- ・ 6月に第10回小委員会を開催し、MEPC59での船用燃料油に関するISOからIMOに提出した報告内容への対応について意見交換を行い、日本意見を提出することとし、対応方針等については、国土交通省で検討することとした。また、NOxテクニカルコード2008における試験燃料分析方法について意見交換を行った。
- ・ 8月に第11回小委員会を開催し、MEPC59の審議結果について、村岡上席研究員(海上技術安全研究所)及び折野委員(ヤンマー株)から報告があり、意見交換を行った。また、ISO/TC28/SC4/WG6で審議された船用燃料油に関するISO規格の改定等について、日本油化工業株宮野主任研究員から説明があり、意見交換を行った。
- ・ 11月に第12回小委員会を開催し、ISO/TC28/SC4/WG6で審議されている船用燃料油に関するISO規格の改定等について、日本油化工業株宮野主任研究員から説明があり、意見交換を行った。
- ・ 3月に第13回小委員会を開催し、ISO/TC28/SC4/WG6で審議されている船用燃料油に関するISO規格の改定等の進捗について、日本油化工業株宮野主任研究員から説明があり、意見交換を行った。続いて、国土交通省から、MEPC60への対応について説明があり、意見交換を行った。

(補機等関係)

○ 補助ボイラ部会 (1回開催)

- ・ 9月に第7回部会を開催し、国内外の海運、造船、キャンセル・納期延期問題等について情報交換を行った。

- ポンプ部会（2回開催）
 - ・ 7月30日に第8回部会を開催し、任期満了に伴う部会長の互選を行った結果、筒井幹治氏（株シンコー・社長）が部会長に再任された。また、模倣品対策、最近の業況等について意見交換を行った。
 - ・ 11月に第9回部会を開催し、PSC関連、模倣品防止用品等について意見交換を行った。また、株シンコーから最近の韓国模倣品業者の調査状況について報告があった。さらにPSCに関連してポンプ部品の即納に向けた取り組み強化の提案があり了承された。

- 熱交換器部会（3回開催）
 - ・ 5月に第14回部会、8月に第15回部会をそれぞれ開催し、国内外造船所の建造延期、キャンセル状況等に関して情報交換を行った。
 - ・ 12月に第16回部会を開催し、新たに神威産業株及び株サクシオン瓦斯機関製作所の2社が加わることとなり、次回はこの2社の意見を参考に今後の進め方を検討することとした。模倣品対策、シップリサイクル、内外造船所の納期延期、キャンセル状況等に関して情報交換を行った。

- 減揺装置部会（1回開催）
 - ・ 1月に第24回部会を開催し、減揺装置の技術動向や部会員の事業活動状況について説明の後、意見交換を行った。

- 甲板機械部会（3回開催）
 - ・ 7月に第17回部会、11月に第18回部会、2月に第19回部会をそれぞれ開催し、各社の業況等について情報交換を行った。

- プロペラ部会（1回開催）
 - ・ 1月に第193回部会を開催し、業界の状況について意見交換を行った後、大型プロペラ・中小型プロペラ・CPP小委員会に分かれて情報交換を行った。

- 油水分離装置部会（4回開催）
 - ・ 4月に第19回部会を開催し、IMO・DE52（船舶設備設計小委員会 2009年3月16日～20日 ロンドン）の審議内容について、国土交通省海事局安全基準課及び業界代表として出席の橋本委員（兵神機械工業株）から現存船に係わるフェーズアウトについて合意できなかった等の報告があり、意見交換を行った。
 - ・ 10月に第20回部会を開催し、DE53（2010年2月22日～26日 ロンドン）のWGで審議される、油水分離器の後処理装置の我が国としての試験基準案について意見交換を行った。また、業界代表として、橋本委員（兵神機械工業株）を派遣することとした。
 - ・ 11月に第21回部会を開催し、DE53のWGで審議される、油水分離器の後処理装置の我が国としての試験基準案について検討し、最終案を国土交通省海事局安全基準課に提出することとした。

- ・ 3月に第22回部会を開催し、2010年2月に開催されたDE53のWGで審議された油水分離器の後処理装置の試験基準案について、国土交通省海事局安全基準課及び業界代表として出席した橋本委員（兵神機械工業株）から報告があり、意見交換を行った。
- 冷凍・空調部会／冷凍・空調業務委員会合同委員会（1回開催）
 - ・ 3月に第23回部会・第4回業務委員会合同委員会を開催し、任期満了に伴う部会長の互選を行った結果、島井勝弘部会長（日新興業株）が部会長に再任された。また、業界状況、アクションプラン2010に関連して、各社の人材確保状況、当会の人材確保事業について意見交換を行った。
- 冷凍・空調業務委員会合同委員会（3回開催）
 - ・ 6月に第2回委員会を開催し、委員長の改選を行った。その結果、武内委員（潮冷熱株・執行役員）が新委員長に選出された。また、今後の進め方について意見交換を行い、原則4回/年開催することとし、国内外の海運、造船に関する情報交換、及び業界に関わる共通の問題・課題等について情報・意見交換を行うこととした。
 - ・ 9月に第3回委員会を開催し、内外の海運、造船、キャンセル及び納期等について情報交換、意見交換を行った。
 - ・ 3月に第4回委員会を部会と合同で開催した。内容は、冷凍・空調部会の項に記載のとおり。
- 航海計器部会（1回開催）
 - ・ 3月に第13回部会を開催し、AISの普及方法及び最近の業界状況について意見交換を行った。
- 計測器部会（2回開催）
 - ・ 9月に第46回部会を開催し、海運会社の環境対策及び最近の業況等について情報交換を行った。
 - ・ 11月に第47回部会を開催し、任期満了に伴う部会長の互選を行った結果、大洋電機株の瀬尾副部会長が選任された。また、最近の業界状況について意見交換を行った。
- 高度船舶安全管理システムの認定等に関する説明会
 - ・ 12月に説明会を開催し、国土交通省海事局安全・環境政策課より、高度船舶安全管理システムの認定のための技術基準案についての説明があり、意見交換を行った。
なお、説明会には、内航船向けエンジンメーカー等21社が参加した。
- ④ **船用次世代経営者等会議（略称：次世代会）**
 - ・ 7月に第10回「船用次世代経営者等会議」を開催し、ナカシマプロペラ株・本社工場及び玉島工場を見学した。また、同社の中島社長より「次世代に告ぐ、今後の市場の荒波とグローバル化」と題する講演が行われた。

- ・ 8月に第1回幹事会を開催し、規約の見直し及び次回の次世代会開催等について打ち合わせを行った。
- ・ 11月に第11回「船用次世代経営者等会議」を開催し、事業中間報告、中間決算報告について説明した後、新入会員の入会手続き及び退会年齢等について意見交換を行った。会議終了後以下の講演会を行った。

演題「三つの目と怨」 ライフハーモニー教育研究所 位田 隆久 氏

- ・ 2月に第2回幹事会を書面により行い、2社2名の入会を承認した。

共和工業㈱ 代表取締役社長 今田 徹男 氏

ナカシマプロペラ㈱ 営業本部営業推進グループ課長 中島 崇喜 氏

2) ユーザー業界等との交流・連携の促進

① 海運・船用工業懇談会

- ・ 2月に大手4船社の工務担当役員と当会政策委員会委員との第6回懇談会を開催し、海運側から日本の船用機器の信頼性等を評価する一方、環境対策への積極的対応を要望するなどの意見を頂いた。また、当会からはアクションプラン2010（要綱）（案）、SMCDの研究開発スケジュール、環境問題に対応した船用機器開発に関する勉強会の実施状況、人材確保・養成対策事業（実践英語）について説明し意見交換を行った。

② 造船業界との懇談会

○（社）日本造船工業会企画委員会との懇談会

- ・ 11月に当会政策委員会と日本造船工業会の企画委員会との第8回懇談会を開催し、造船工業会からは、①トライパタイト（船主、船級、造船の代表による会合）での検討内容、②EMECのNGO取得に向けた動向、③欧州委員会の規則改正による政府代行船級機関の相互承認など造船業・船用工業に係わる共通課題について説明があった。当会からは、アクションプラン（2009）（要綱）及び景況感調査結果を説明し意見交換を行った。

○（社）日本中小型造船工業会との懇談会

- ・ 12月に当会政策委員会と日本中小型造船工業会の政策委員会との第4回懇談会を開催し、中小型造船工業会からは、同業界の概況について、当会からはアクションプラン（2009）（要綱）及び景況感調査結果を説明し意見交換を行った。また、ダイハツディーゼル㈱の守山工場を見学した。

③ 船艇技術懇談会

- ・ 1月に第8回船艇技術懇談会を開催し、巡視船艇搭載機器の高機能化等の技術的問題等について海上保安庁と関係会員等で情報交換を行うとともに、業界より新製品開発等への取り組みを紹介した。

④ (財)日本海事協会との懇談会

- ・10月に(財)日本海事協会と当会政策委員会委員との懇談会を開催し、(財)日本海事協会は活動概況について、当会はアクションプラン(2009年)をそれぞれ説明し、その後、意見交換を行った。

⑤ (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構との懇談会

- ・11月に(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)と、事務局ベースでの懇談会を開催し、内航海運に係る技術的な問題等について意見交換を行った。

⑥ 内航海運工務関係者との懇談会

- ・3月に、内航海運の工務関係者と事務局レベルで懇談会を開催し、モジュール化など内航船に係わる技術問題について意見交換を行った。

⑦ (社)海洋水産システム協会と事務局レベルでの懇談会の準備

- ・2月に、(社)海洋水産システム協会と打ち合わせ会を開催し、事務局レベルで漁船、漁業に係わる技術的な問題等について意見交換を行いたいと提案したところ、同協会からも是非実施したいとの賛同を得た。来年度より実施する予定。

3) 新規会員獲得に向けた取り組み

- ・会員のご協力のもとに新規会員の拡大に向けた取り組みを強化し、普通会员については7社、賛助会員については2社の新規入会があった。

4) 地方船用工業会(地船工)との連携

- ・4月、東京において、全国の地方船用工業会事務局長との会議を開催し、平成21年度の「日船工アクションプラン2009」及び、平成21年度日本財団造船関係貸付事業について説明した。また、地方船用工業会の最近の現状、問題点、今後の連携のあり方等について意見交換を行った。
- ・11月に広島において開催された「第32回地方船用工業会全国協議会定期総会」に参加し、意見交換を行った。

(3) ユーザー業界等と連携した具体的な取り組み

1) 船用機器に係るICタグを活用した情報の共通利用に関する調査研究(日本財団助成事業)

- ・本事業は、ICタグの海運・造船・船用業界での共通利用を目指す調査研究で、日本財団助成事業として、船主1社、造船2社、メーカー9社の参加を得て、平成20年度、21年度の2年計画で開始されたものである。
- ・平成21年度は、20年度に引き続き、共通利用システムの設計を行うとともに、船舶内部での部品管理や、点検・整備履歴の管理、また、商社における一括検品等の実証試験を実施した。
- ・2年間の研究成果を基に、ICタグの共通利用のための指針を作成した。なお、本事業を実施するにあたり、参加企業の意見を十分反映するため、参加企業からなる連絡会を3回開催した。

2) 船用機器の機能別統合化に関する調査研究（日本財団助成事業）

- ・本事業は、船用機器の機能別統合化（モジュール化）について、国内外の現状と課題等を調査し、事業化に当たっての市場性、採算性等の検討を行うとともに、内航船をモデルケースに一部モジュールの試作、実船試験等を行いモジュール化推進のための提言をまとめるものであり、平成21年度から2年計画で開始されたものである。
- ・平成21年度は、モジュール化に関する現状調査とその分析を行うと共に、3種類（燃料油移送、スラッジ処理及び燃料油供給）のモジュールを試作し、実船に搭載し試験を行った。
なお、本事業を実施するにあたり、関係者の意見を十分反映するため、船主、造船所、メーカー等からなる研究会を3回開催した。

(4) 人材確保・養成対策の推進

1) 人材確保・養成対策事業の実施体制の検討

- ・会員企業のニーズを踏まえ、本事業を効果的に実施するため、海運・造船概論WG及び船用実践英語WGを設置した。

2) 船用マイスターの認定

- ・平成21年度においては9月2日に開催したマイスター審査会において書類確認等の審査を経た27社37名を認定した。なお、第3回船用マイスター認定証交付式を10月29日に理事会終了後開催し、船用マイスターに認定証及び認定徽章を交付した。

被認定者は以下の通り。(会社五十音順、敬称略)

| (会社名) | (氏名) |
|-------------------|-----------------|
| (株) アイメックス | 村 上 豪 |
| (株) 赤 阪 鐵 工 所 | 岩 崎 守 |
| 潮 冷 熱 (株) | 山 崎 広 繁 |
| 渦 潮 電 機 (株) | 工 藤 泰 男 曾我部 修 三 |
| (株)大阪ボイラー製作所 | 今 西 英 昭 |
| 金 澤 鐵 工 (株) | 森 崎 礼 一 |
| 川 崎 重 工 業 (株) | 中 野 正 春 西 出 謙 二 |
| (株) 神 戸 製 鋼 所 | 嵐 隆 廣 高 井 久 |
| (株) サ サ ク ラ | 寺 坂 禎 浩 |
| (株) シ ン コ ー | 大 門 清 春 加 登 隆 幸 |
| ダイハツディーゼル(株) | 太 田 修 司 |
| ターボシステムズユナイテッド(株) | 渡 邊 靖 久 |
| (株) 高 澤 製 作 所 | 前 北 博 |
| 寺 崎 電 気 産 業 (株) | 石 井 敏 明 神 頭 幸 二 |
| 東 亜 工 機 (株) | 山 下 直 喜 峰 正 己 |
| ナカシマプロペラ(株) | 赤 木 洋 一 綱 嶋 栄 |

| | | |
|---------------|---------|-----------|
| (株)浪速ポンプ製作所 | 新 野 猛 | |
| 新 潟 原 動 機 (株) | 高 井 剛 | |
| 西 芝 電 機 (株) | 永 井 義 則 | |
| 日 鍛 バ ル ブ (株) | 高 橋 一 裕 | |
| 日本ドライケミカル(株) | 徳 川 博 喜 | |
| 阪神内燃機工業(株) | 岡 田 睦 夫 | |
| 日 立 造 船 (株) | 安 藤 広 美 | 藤 縄 謙 一 郎 |
| (株)ヘンミ | 村 上 眞 一 | |
| 兵 神 装 備 (株) | 北 川 敏 廣 | |
| ヤ ン マ ー (株) | 北 濱 義 隆 | 川 口 伊 三 夫 |
| 山 科 精 器 (株) | 川 村 啓 | 熊 谷 行 高 |

3) 寄付講義の実施

○ 寄付講義

- ・東京海洋大学での寄付講義「船用工業実務論」は、昨年度に引き続き、平成21年10月1日から平成22年2月18日まで開講し、会員企業11社12名が非常勤講師として12科目の講義を行った。海洋工学部の3年生を主な対象とし、履修登録学生61名が受講した。
- ・神戸大学での寄付講義「最新船用機器・技術概論」は、昨年度に引き続き、平成21年10月13日から平成22年2月16日まで開講し、会員企業12社12名が講演者として12科目の講義を行った。海事科学部の3年生を主な対象とし、履修等特学生41名が受講した。また、神戸大学の要請により、講義の一環として工場見学（古野電気(株)）が実施された。

1) 東京海洋大学 非常勤講師（11社12名）（敬称略）

| (科目名) | (会社名) | (氏名) |
|-----------------|-------------------|---------|
| 造 船 | 三 井 造 船 (株) | 上 谷 秀 雄 |
| 大形ディーゼル (タービン含) | 三 井 造 船 (株) | 大 津 正 樹 |
| 中形ディーゼル | 新 潟 原 動 機 (株) | 川 元 満 生 |
| プロペラ | か も め プ ロ ペ ラ (株) | 深 澤 正 樹 |
| ポンプ | (株) シ ン コ ー | 上 園 康 弘 |
| ボイラ | カホルク・インダストリーズ(株) | 島 英 昭 |
| 熱 交 換 器 | 神 威 産 業 (株) | 仲 村 健 |
| 甲板機械 | (株)カサキプレジジョンマシナリ | 大 江 啓 司 |
| 発電機・電動機 | 大 洋 電 機 (株) | 森 茂 雄 |
| 配電盤・監視装置 | 渦 潮 電 機 (株) | 渡 辺 功 |
| 航海計器 | 東 京 計 器 (株) | 山 本 貫 志 |
| 制御機器 | ナ ブ テ ス コ (株) | 竹 下 恵 介 |

2) 神戸大学 講演者 (12社12名) (敬称略)

| (科目名) | (会社名) | (氏名) |
|----------------|------------------|-------|
| 造 船 | (株)川崎造船 | 中村容透 |
| 大形ディーゼル(タービン含) | 川崎重工業(株) | 徳岡哲夫 |
| 中形ディーゼル | 阪神内燃機工業(株) | 財田武彦 |
| プロペラ | ナカシマプロペラ(株) | 竹田 敦 |
| 舵・操舵機 | ジャパンハムワージ(株) | 鍋島健治郎 |
| ポンプ | 大晃機械工業(株) | 三浦俊夫 |
| ボイラ | (株)大阪ボイラー製作所 | 寺内克徳 |
| 冷凍機・空調機 | 日新興業(株) | 宇野光世 |
| 甲板機械 | (株)カワキプレジジョンマシナリ | 大江啓司 |
| 塗 装 | 中国塗料(株) | 相川久雄 |
| 発電機・電動機 | 西芝テクノ(株) | 水田泰寛 |
| 航海計器 | 古野電気(株) | 森 正幸 |

○ 業界説明会

- ・神戸大学・深江キャンパスにおいて第2回船用工業説明会を5月28日に予定していたが、新型コロナウイルスの影響により開催を中止し、10月26日に会員会社25社の参加により会社説明会を実施した。神戸大学からは海事科学部の3年生・大学院生約100名が参加した。

参加会社は以下の通り。(会社五十音順)

| | | |
|------------------|--------------|-----------|
| (株)IHI回転機械 | (株)アイメックス | (株)石井工作所 |
| 渦潮電機(株) | (株)大阪ボイラー製作所 | (株)カシワテック |
| カヤバ・マックグレコ(株) | 佐世保重工業(株) | (株)シンコー |
| ダイハツディーゼル(株) | (株)帝国機械製作所 | 寺崎電気産業(株) |
| ナカシマプロペラ(株) | 西芝電機(株) | 日立造船(株) |
| (株)日立ニコトランスミッション | 富士貿易(株) | 古野電気(株) |
| 兵神機械工業(株) | 兵神装備(株) | 眞鍋造機(株) |
| 三井造船(株) | 三菱化工機(株) | ヤンマー(株) |
| 山科精器(株) | | |

- ・12月24日に東京海洋大学における「第3回船用工業説明会」を東京計器(株)協社長による講演会及び会員会社22社の参加による会社説明会を実施した。東京海洋大学からは海洋工学部の3年生・大学院生約80名が参加した。

参加会社は以下の通り。(会社五十音順)

| | | |
|------------|-----------|-----------|
| (株)IHI回転機械 | (株)アイメックス | (株)赤阪鐵工所 |
| いすゞ自動車(株) | 渦潮電機(株) | (株)カシワテック |

| | | |
|------------------|-----------|------------------|
| かもめプロペラ(株) | 佐世保重工業(株) | (株)ジュー・アール・シー・エス |
| ダイハツディーゼル(株) | 東京計器(株) | ナブテスコ(株) |
| 新潟原動機(株) | 日本無線(株) | バルチラジヤパン(株) |
| (株)日立ニコトランスミッション | 富士貿易(株) | 眞鍋造機(株) |
| 三井造船(株) | 三菱化工機(株) | ヤンマー(株) |
| 郵船商事(株) | | |

4) 社会人教育の実施

○船用講座

「海運・造船概論」

- ・東京会場（11月10日・船の科学館）、大阪会場（11月16日・大阪国際会議場）にて社会人教育講座「海運・造船概論」を開催した。東京会場53社101名、大阪会場47社88名の会員企業の中堅社員が講座を受講した。講師は海事アナリストの長塚誠治氏。

「船用実践英語」

- ・本講座は本年度からスタートした講座であり、東京海洋大学・高木教授に講師を依頼し、20名の受講生を得て実施した。11月26日にオリエンテーションを行った後、12月上旬～2月下旬までリスニングと英作文に関する10回の通信教育を行った。
- ・3月1日～2日に最終セミナーを東京海洋大学にて開催し、外国人エンジニアに対して会社説明、実務等について英語でプレゼンテーションと質疑応答を行った。その後、修了式を行い、講座を終了した。

参加会社は以下の通り。(会社五十音順)

| | | |
|----------------|-----------------|--------------|
| (株)池貝ディーゼル | (株)石垣 | 潮冷熱(株) |
| (株)宇津木計器 | (株)大阪送風機製作所 | (株)カシワテック |
| 川崎重工業(株) | 三信船舶電具(株) | ダイハツディーゼル(株) |
| 大洋電機(株) | (株)ディーゼルユナイテッド | 東亜工機(株) |
| 東京計器(株) | ナカシマプロペラ(株) | 長崎マリンサービス(株) |
| 富士フィルター工業(株) | 富士貿易(株) | 西芝電機(株) |
| (株)日本無線電機サービス社 | ヤンマーエンジニアリング(株) | |

○乗船研修

- ・6月17日～6月18日に弓削商船高専・弓削丸にて16社29名の参加者を得て福山～高松間の研修を実施した。また、7月1日～3日に神戸大学・深江丸にて18社30名の参加を得て神戸～高松間の研修を実施した。参加者は、当直体験、船内設備の見学等に加え、お互いの交流も活発に行うなど有意義な研修を体験した。

参加会社は以下の通り。(会社五十音順)

| | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 潮 冷 熱 (株) | 渦 潮 電 機 (株) | (株)エヌゼットケイ |
| (株)大阪ボイラー製作所 | (株)カシワテック | 神奈川機器工業(株) |
| 川 崎 重 工 業 (株) | (株)倉本計器精工所 | (株)ケーイーアイシステム |
| (株)高 工 社 | 三 信 船 舶 電 具 (株) | (株)サンフレム |
| ターボシステムズ・エイト(株) | ダイハツディーゼル(株) | 東 亜 工 機 (株) |
| 東 京 計 器 (株) | ナカシマプロペラ(株) | (株)浪速ポンプ製作所 |
| ナ ブ テ ス コ (株) | 日 本 船 燈 (株) | 日 本 プ ス ネ ス (株) |
| 新 倉 工 業 (株) | 日 本 無 線 (株) | 富 士 貿 易 (株) |
| 富士フィルター工業(株) | 兵 神 機 械 工 業 (株) | ボ ル カ ノ (株) |
| (株)マキタ | (株)マヤテック | (株)丸上製作所 |
| ムサシノ機器(株) | 明 陽 電 機 (株) | ヤ ン マ ー (株) |
| 郵 船 商 事 (株) | | |

(5) 船用工業製品の模倣品対策の推進

① 模倣品対策協議会幹事会等の開催

- ・ 9月に第10回幹事会を開催し、模倣品問題に関する情報交換及び、国土交通省が予定している模倣品調査の調査内容などについて意見交換を行った。
- ・ 1月に第11回幹事会を開催し、マリンテックチャイナ模倣品調査報告、国土交通省が委託調査した「船用工業製品に係わる模倣品実態調査」中間報告があり意見交換を行った。また、模倣品防止用ラベルの紹介・検討を行った。

② 模倣品対策協議会の活動

- ・ 昨年ポンプメーカー会員6社が韓国模倣品4社を共同で刑事告訴（韓国釜山検察庁に商標権侵害を理由に）したが、去る6月4日に和解が成立し、当会から本和解について6月24日にプレスリリースを行った。
- ・ エンジンメーカー会員2社が、国内の模倣品販売業者2社に対し、共同で商標権侵害等を理由に民事訴訟を行っていたが、去る4月27日に和解が成立し、当会から7月10日にプレスリリースを行った。
- ・ 3月に第11回協議会を開催し、本年度のエンジン業界及びポンプ業界の活動報告、平成21年度国土交通省委託調査「船用工業製品に係る模倣品実態調査」中間報告を行い、また、模倣品防止用ラベルの活用について検討を行った。模倣品防止用ラベルについては、協議会として採用することとした。

(6) 船用工業の経営基盤強化に関する事業

1) 融資の斡旋（日本財団関連）

- ・日本財団のボートレース公益資金に係わる「設備資金」、「運転資金」の融資申込みに際して、会員企業に事業者団体としての証明を行うとともに、その申込み手続きに協力した。なお、本年度の当工業会会員に対する貸付は、次のとおりである。

(単位：千円)

| | 設備資金 | | 運転資金 | |
|-----|------|-------------|------|-------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 第1回 | 7 | 3,946,000 | 39 | 6,113,300 |
| | (12) | (4,269,000) | (36) | (4,132,400) |
| 第2回 | 5 | 1,738,900 | 39 | 5,327,100 |
| | (15) | (2,936,400) | (40) | (4,979,000) |
| 計 | 12 | 5,684,900 | 78 | 11,440,400 |
| | (27) | (7,205,400) | (76) | (9,111,400) |

* () 内は前年度実績

2) 経営戦略セミナー（講演会の開催）

- ・業界にとって関心の深いテーマについて、以下の通り講演会を実施した。

○第21回（7月16日 大阪）

演題：「日中韓造船業界の動向と今後の需給見通し」

講師：(株)三井住友銀行 企業調査部業界情報第2グループ長 甲斐中 明 氏

○第22回（12月17日 大阪）

演題：「2009年海運市況の回顧と展望」

講師：日本郵船(株) 調査グループグループ長代理 四津 雅人 氏

○第23回（3月25日 東京）

演題：「生涯現役の面白健康学」

講師：京都大学大学院 人間・環境学研究科教授 森谷 敏夫 氏

3) 会員景況感調査の実施

- ・平成21年8月に毎年実施している会員景況感調査を会員企業228社に対して実施し、その結果を10月1日開催の第30回地方大会及び10月9日開催の第223回政策委員会で報告するとともに、同10月にプレス発表を行った。

(7) 船用機器標準化の推進

- ・船用工業の経営基盤の強化、生産性の合理化等を図る観点から、船用機器の仕様の統一を目的に、当工業会の業界標準であるSM標準について定期的に見直し等を行っており、本年度は3月に下記

の改正を行った。

- 船用ディーゼル主機関遠隔制御装置保守基準（SMA108）
- プロペラの付属品標準（SMA199）
- プロペラの抜出用油溝標準（SMA201）
- 船用油清浄機の標準要求仕様（SMA267）
- 船用油清浄機の標準製造仕様書（SMA268）

（８）船用工業の統計資料の整備

1) 「各国船用機関の生産動向 第34号」

- ・ロイド統計をベースに、世界の新造船建造状況、主機関の搭載状況を統計的に加工し、年報としてまとめた。

2) 「平成20年 船用工業製品の輸出入状況」

- ・造船法に基づき、国土交通省に報告される船用工業製品の輸出入統計を、地域別・国別に集計し、年報としてまとめた。

（９）P L対策の推進

- ・「製造物責任法」（P L法）が施行されて以来、安全を基本においた製品を供給することが企業の社会的責務として明確に打ち出された。このため当工業会では、「P L特別委員会」を設置し、以下のとおり、団体P L保険の運営等について検討を行った。
- ・P L特別委員会を書面にて開催し、平成21年度の新規加入希望1社及び更新企業37社について、審議を行い、承認された。
- ・P L特別委員会を書面にて開催し、任期満了に伴う委員の改選を行った。委員長には河田隆氏（西芝電機株）、委員には宮本浩二氏（株シンコー）、竹田寿彦氏（ダイハツディーゼル株）が新たに選出され、その他は再任された

第22回（6月26日付 書面）

第23回（7月13日付 書面）

2. 環境問題への対応に関する事業

1) スーパークリーンマリンディーゼルの開発（日本財団助成事業）

- ・IMOの船舶からの排ガス規制強化の動きに対応し、国土交通省では「船舶からのNOx低減のための研究プロジェクト」を推進中であるが、当会としても、日本財団の助成を受け、先進的な環境規制対応船用ディーゼルエンジン「スーパークリーンマリンディーゼルエンジン」の研究開発を、「低速エンジン」、「中速エンジン」、「小形高速エンジン」の3グループで平成19年度～22年度の計画で実施中である。
- ・平成21年度についても、以下のとおり順調に開発が進められている。当会としても各グループとの連絡会の開催、研究開発の進捗に伴う事業計画の一部変更など円滑な開発の実施に努めた。

- 低速機関グループにおいては、低い排気ガス温度（250℃レベル）に対応した脱硝装置を開発すべく、東京海洋大学に設置した試験設備で耐久試験、再生試験等を行っている。また、排気ガス温度の影響、PMを除去することの効果についても実験を行っている。
(開発担当会社：三菱重工業㈱、㈱赤阪鐵工所)
- 中速機関グループにおいては、機関本体におけるNO_x低減を行うため、電子制御燃料噴射を行うための必要部品を製作し、実機に搭載した試験等を行っている。また、後処理装置の開発では、試験装置にて触媒に付着する煤の影響や耐久性等の試験を行うとともに、併行してマイクログリアクターにより触媒の劣化や再生について試験を行っている。
(開発担当会社：新潟原動機㈱、ダイハツディーゼル㈱、三井造船㈱。但し、ダイハツディーゼル㈱及び三井造船㈱は、SCR脱硝装置に関する開発部分に限る。)
- 小形高速機関グループにおいては、主機に関しては、過渡応答対応可能な尿素供給装置の開発や実機での脱硝性能試験を行っている。補機に関しては、尿素供給装置の開発や空気アシスト方式の検討や実機での運転調査、さらには、高濃度硫黄燃料を使用するため耐久試験を行うこととし、そのために必要な機器等の準備を行っている。(開発担当会社：ヤンマー㈱)
- また、これらの中間成果発表会を1月27日に(独)海上技術安全研究所と共同で開催し、下記の報告を行った。
 - 「船舶からのNO_x低減のための研究プロジェクト」の概要
(国土交通省 海事局 船舶産業課 専門官 江頭 博之 氏)
 - 小形高速ディーゼル機関における開発状況について
(ヤンマー㈱ 中央研究所研究センター 主席研究員 神田 俊久 氏)
 - 中速ディーゼル機関における開発状況について
(新潟原動機㈱ 執行役員 技術センター長 川上 雅由 氏)
 - 低速ディーゼル機関における開発状況について
(三菱重工業㈱ 原動機事業本部 産業エネルギー部 部長代理 藤田 勝也 氏)
 - 「海技研における船用SCR脱硝システムの研究」
(独)海上技術安全研究所 動力システム系次世代動力システムセンター長 平田 宏一 氏)
- 本開発に関連して、脱硝装置が大きな設備となることから、(財)日本船舶技術研究協会に委託して脱硝装置搭載のための機関室設計ガイドラインを、タンカー、PCC、コンテナ、バルカーの4つの船種につき作成中である。

2) スーパークリーンマリンディーゼルの実船試験(日本財団助成事業)

- 日本財団の助成を受け、「スーパークリーンマリンディーゼル」におけるSCR脱硝装置等の性能を確認、実証するため、平成21年度～23年度の計画で、低速、中速、小形高速の3グループで実船試験を行うこととしている。なお、本研究開発について、必要な資金(700,000千円)を日本財団の助成を受け、特定資産に繰り入れた。

- ・実船試験の内容及び費用について検討を行い、1月に3グループと契約を結んだ。21年度はいずれのグループとも、実船の選定、選定した船における試験を行うための基本設計等を行った。

3) 省エネ対策への取り組みの強化

- ・地球温暖化防止への船用業界の対応の一環として、船用機関製造業を対象に自主行動計画を作成しており実績を踏まえて見直しを行い、削減目標をエネルギー使用原単位(MJ/PS)で1990年比、-30%とし、国土交通省に報告した。

4) シップリサイクル問題への対応

- ・6月にシップリサイクル条約に関し、(財)日本海事協会が開発している材料宣誓書等作成ソフトについて、船用企業(11社)と(財)日本海事協会が意見交換を行い、10月にソフトを船用企業(13社)に配布し、各社で試行を実施し、11月に問題点等について意見をとりまとめ、(財)日本海事協会に伝達し修正等をお願いした。また、3月に完成ソフトを希望者に配布した。
- ・シップリサイクルセミナー(主催(財)日本船舶技術研究協会、当会・共催)を開催した。
 - 11月16日(東京) 11月8日(大阪) 11月24日(福岡) 11月25日(広島)
 - 11月26日(今治) 12月9日(東京)
- ・「材料宣誓書等の作成のための説明会」を、(財)日本海事協会の協力により当会の主催で開催した。
 - 2月22日(東京) 2月24日(今治) 2月25日(広島) 3月2日(大阪)

3. 研究開発等の活性化に関する事業

(1) 新製品開発活性化のための支援事業

1) 新製品開発のための助成(日本財団助成事業)

- ・国際競争力の強化と新需要開拓に資する新製品開発の活性化を図るため、日本財団の助成を得て、以下の新製品開発等に関わる開発研究に対し支援を行った。

① 平成21年度日本財団助成事業の実施

a. 船舶復原性能監視装置の技術開発

- ・復原性喪失に伴う海難事故を未然に回避するため、運航中における船舶の動揺をセンサーにより測定し、得られた時系列データから統計的手法を用いて算出したGM値を表示する装置を平成20、21年度の2年で開発するもので、予定通り、21年度で開発を終了した。

b. 複合材料による高効率低コスト型プロペラの技術開発

- ・プロペラの高効率化および低コスト化を図るため、軽量、高強度、耐腐食性等に優れている繊維強化プラスチックを用いた船用プロペラを平成21、22、23年の3年計画で開発するもので予定通り進捗している。本年度は複合材料の素材の検討、製作方法の検討、複合材料の機械的試験、キャビテーションの試験を実施しており、さらに、選定した素材や成型方法によりプロペラ的设计・試作を行った。

c. コンテナ型常用発電機装置の技術開発

- ・内航コンテナ船では、冷凍コンテナの輸送需要が著しく増加してきており、船内の電力不足が原因で全ての冷凍コンテナを搬送できず積み残すことが増えている。このため、船内供給電力を増強するための甲板上に搭載可能なコンテナ型発電機装置を、平成21、22年度の2年で開発するもので、21年度は、コンテナ型発電機装置の計画、設計及び試作を行った。

② 平成22年度日本財団助成事業

- ・9月に、「技術開発評価委員会」を開催し、平成22年度日本財団助成事業として、会員企業からの応募のあった7件の課題についての評価を行った。
- ・本委員会の評価に基づき、10月末に7件の課題について、日本財団に申請した結果、下記の5件（新規3件・継続2件）の課題につき日本財団からの助成が決定した。
 - － 内航船ディーゼル主機関の排熱を利用した主機燃料油加熱システムに関する技術開発（株KITA ENGINEERING（新規））
 - － 操舵システム作動監視装置の技術開発（ジャパンハムワージ株（新規））
 - － 排熱回収型サイレンサに関する技術開発（株大晃産業（新規））
 - － 複合材料による高効率低コスト型プロペラの技術開発（ナカシマプロペラ株（継続））
 - － コンテナ型常用発電機装置の技術開発（ヤンマー株（継続））

2) 新製品開発活性化のための環境整備

- ・新製品開発に係わる事前調査事業（F S）の実施、研究会や「船用技術フォーラム」の開催等を通じた戦略的テーマの発掘等、業界における新製品開発等の活性化のための環境整備を行った。

① 平成21年度新製品開発に係わる事前調査事業（F S）

- ・平成21年度には下記3件のF Sを実施した。
 - － 船用ディーゼルエンジンの廃熱利用による発電システムの調査研究（ダイハツディーゼル株）
 - － LEDによる光通信を応用した岸壁－船舶間相対距離計測システムの調査研究（渦潮電機株）
 - － 小型船における機関日誌の自動化の調査研究（株村山電機製作所）

② 平成22年度新製品開発に係わる事前調査事業（F S）

- ・平成22年度の募集を行った結果、下記5件の実施が決定した。
 - － 船舶用防水LED照明についての調査研究（伊吹工業株）
 - － 高耐食性オゾン酸化被膜のプレート式熱交換器への適用性に関する調査研究（株大晃産業）
 - － 自吸式ポンプの吸い込み性能改善についての調査研究（株帝国機械製作所）
 - － 軸受け磨耗センサー開発の調査研究（明陽電機株）
 - － 電気推進用誘導電動機の起動方法の調査研究（ヤンマー株）

③ 研究会等

a. 船内LAN研究会

- ・船内のケーブル工事量の削減や、船内情報の活用を実現する方法として、船内LANの構築に関してそのメリットや課題を研究するものであり、平成17年度に発足したが、実際に実験等を行うために平成20年度に参加者の再募集を行い研究会の再編を行った。
- ・船内LAN研究会の活動を発表するために、制御を伴わない一般情報を対象とした機器間の実証試験を、マリンテックチャイナ2009展示会で行った。また、本研究会で検討してきた船内LANの方式をISO等の規格とするため、装備指針の作成並びに検討を行った。

b. 機関室モジュール化研究会

- ・「船用機器の機能別統合化に関する調査研究」の実施に当たって、関係者の意見を広く反映させるため、内航船主、造船所、機器メーカー等約40名の参加を得て本研究会を設置した。研究会では、モジュール化についての検討や意見交換、さらには関連する講演を行っており、今年度は6月、11月、2月と計3回開催した。

c. 環境問題に対応した船用機器開発

- ・「海運・船用工業懇談会」において、船社サイドから省エネ等環境問題をテーマとした勉強会の提案があり、これを受けて、大学、海運、船用メーカー等26名の参加を得て、環境問題に対応した船用機器開発について意見交換を行う勉強会を設置した。本勉強会は、計4回開催し、参加者のそれぞれの立場からのプレゼンテーションを行った後に、ブレインストーミングを兼ねた意見交換を行った。

④ 船用技術フォーラムの開催

- 第15回（平成21年9月15日 東京）（参加者数 約140名）

（第I部 新製品開発支援事業成果発表）

- 舵取機用光学式舵角検出装置の技術開発

ジャパンハムワージ(株) 執行役員計装制御部長 山本 博敬 氏

- 省エネ型油槽ポンプ駆動用に関する技術開発

(株)シンコー 技術本部 タービン設計部1課課長 吉崎 良市 氏

- 救命胴衣用位置検出装置の技術開発

高階救命器具(株) 企画開発部 主任デザイナー 川北 拓児 氏

（第II部 最近のIMOにおける船用機器関係の検討状況）

- 国土交通省 海事局 安全基準課 課長補佐 小磯 康 氏

⑤ 産学連携

- ・(社)日本マリンエンジニアリング学会との連携を図り、同学会の第3種研究委員会を活用し、船用ディーゼル機関のPM計測システムを確立すべく、平成19年度より平成21年度までの3ヵ年計画で、(独)水産大学校・海洋機械工学科の前田和幸教授のご指導により調査を実施し、標準的な

計測システムの確立、PMの生成機構の解明、PM低減方法の検討を行った。

(2) 船用技術に係る国際的な動向への対応

1) IMO、ISOへの対応

- ・IMO等における新たな規制に向けた動きに対応するため、機関技術委員会など関係委員会等で検討を行った。
- ・IMO・MEPC59、BLG14に業界代表として島田大形機関技術委員（三井造船株）、折野中形機関技術委員（ヤンマー株）が出席した。
- ・IMO・MEPC60に業界代表として島田大形機関技術委員（三井造船株）が出席した。
- ・IMO・DE53に業界代表として橋本油水分離装置部会員（兵神機械工業株）が出席した。
- ・船内LAN研究会では、船内機器用情報系LANシステム装備指針をISO規格として提案を行うことしその案を作成した。

4. 国際化への対応に関する事業

(1) グローバル展開の環境整備

1) 情報収集等

- ・近年、造船振興に力を入れている中国、ベトナム、インド、東欧等について、各々JETROの共同事務所を活用して情報収集に努めた。

2) 国際交流の促進

① 韓国造船機資材工業協同組合（KOMEA）との交流

- ・10月23日、24日に、韓国・釜山にて、韓国の船用事業者団体である韓国造船機資材工業協同組合(KOMEA)と当工業会双方の役員クラスによる交流・懇談を行った。

② 中国船舶工業行業協会（CANSI）等との交流

- ・11月30日に中国・上海にて、「マリンテックチャイナ2009展示会」の開催に併せ、中国船舶工業行業協会との情報交換を行うとともに、「日中造船船用交流懇親会」（日中関係者310名参加）を開催し、中国の海運・造船関係者との交流・懇談を行った。

2) 海外ミッション等の企画

- ・9月10日に船用工業セミナーの開催に併せて、当工業会関係者30名が、インド・ムンバイのバラティ造船所視察の視察を行った。
- ・12月2日に中国・上海にて、マリンテックチャイナ2009展示会に併せて、当工業会関係者34名が、上海中船三井造船柴油机有限公司及び洋山深水港コンテナターミナルの視察を行った。
- ・3月18日にベトシップ2010展示会に併せて、当工業会関係者14名が、ベトナム・ハノイの渦潮電機株ハノイ工場の視察を行った。

(2) 船用工業の海外海事展への参加等による海外宣伝の充実（日本財団助成事業）

1) ジャパンスタンドにおけるロゴマーク等の統一化

- ・当工業会が出展する国際展示会において、日本のナショナルスタンドとしてより強く来場者に印象づけるため、ロゴマーク（シンボルマーク）を制定した。

2) ノルディング2009国際海事展への参加

① 展示会概要

開催期間：2009年6月9日（火）～6月12日（金）[4日間]

開催場所：ノルウェー王国、リレストロム市（Norway Trade Fairs）

出品者数：52カ国・地域から1,105社・団体

入場者数：15,599名

② 当工業会の参加概要

出展面積：210㎡

展示場所：Hall B（Stand No. B02-06）

出展者数：10社（スペース9社、パネル1社）

（スペース出展）

| | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 佐世保重工業(株) | ダイハツディーゼル(株) | 大洋電機(株) |
| ナブテスコ(株) | 富士貿易(株) | 兵神機械工業(株) |
| 眞鍋造機(株) | ムサシノ機器(株) | ヤンマー(株) |

（パネル出展）

大晃機械工業(株)

3) マリンテックチャイナ2009国際海事展への参加

① 展示会概要

開催期間：2009年12月1日（火）～12月4日（金）[4日間]

開催場所：中華人民共和国・上海市（上海新国際博覧中心）

展示会場総面積：57,500㎡

出品者数：30カ国から1,158社

入場者数：35,309名

② 当工業会の参加概要

出展面積：541㎡

展示場所：Hall W1（Stand No. 1A01、1B11、1B21、1B31、1C11）

出品者数：33社（スペース31社、パネル1社、カタログ1社）

（スペース出展）

| | | |
|----------------|-------------------|-------------------|
| 伊吹工業(株) | 渦潮電機(株) | 神奈川機器工業(株) |
| かもめプロペラ(株) | 川崎重工業(株) | 株式会社ワサキプレジジョンマシナリ |
| 株式会社ケーイーアイシステム | 株式会社ジェー・アール・シー・エス | 商船三井テクノトレード(株) |

| | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| (株) シンコー | (株) スタビロ | ダイキンMRエンジニアリング(株) |
| ダイハツディーゼル(株) | 大洋電機(株) | (株)田邊空気機械製作所 |
| ナカシマプロペラ(株) | (株)浪速ポンプ製作所 | ナブテスコ(株) |
| 新潟原動機(株) | 西芝電機(株) | 日本船用エレクトロニクス(株) |
| 日本プスネス(株) | 富士貿易(株) | 兵神機械工業(株) |
| 眞鍋造機(株) | 三井造船(株) | 三菱化工機(株) |
| 三菱重工業(株) | ムサシノ機器(株) | ヤマハ(株) |
| 郵船商事(株) | | |

(パネル出展)

(株)石井工作所

(カタログ出展)

JFEエンジニアリング(株)

(船内LAN研究会出品)

寺崎電気産業(株) 日本船用エレクトロニクス(株) 日本無線(株)

(株)村山電機製作所

4) ベトシップ2010国際海事展への参加

① 展示会概要

開催期間：2010年3月17日(水)～3月19日(金) [3日間]

開催場所：ベトナム社会主義共和国・ハノイ市 (ナショナルコンベンションセンター)

② 当工業会の参加概要

出展面積：216㎡

展示場所：2階ホール

出品者数：13社

(スペース出展)

| | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| (株)赤阪鐵工所 | (株)石井工作所 | 川崎重工業(株) |
| 大晃機械工業(株) | ダイハツディーゼル(株) | ナカシマプロペラ(株) |
| (株)浪速ポンプ製作所 | 新潟原動機(株) | 日本船用エレクトロニクス(株) |
| 眞鍋造機(株) | 三菱化工機(株) | 三菱重工業(株) |
| ヤマハ(株) | | |

5) ポシドニア2010国際海事展への参加準備

① 展示会概要

開催期間：2010年6月7日(月)～6月11日(金) [5日間]

前回実績：開催場所：ギリシャ共和国・ヘレニコ市 (Hellenikon Exhibition Centre / HEC)

6) SMMハンブルク2010国際海事展への参加準備

① 展示会概要

開催期間：2010年9月7日(火)～9月10日(金) [4日間]

前回実績：開催場所：ドイツ連邦共和国・ハンブルク市 (Hamburg Exhibition Centre)

7) 英文広報誌の刊行

- ・英文広報誌 (J s m e a News) を年2回 (1月、3月) 刊行し、海外の船主、造船所、代理店 (船用機器取扱業者)、政府機関等の関係者に配付するとともに、シージャパン2010展示会 (日本) ベトシップ2010 (ベトナム) の各展示会においても参加者に配布した。

(3) 船用工業海外セミナーの開催 (日本財団助成事業)

- ・平成20年度に中止となり、日本財団より事業期間の延長を認められたインドのムンバイにおける海外セミナーの開催について、改めて現地情勢の調査等を行った結果、9月9日にインド・ムンバイ市のトライデントホテルで、インド側約70名、日本側50名の参加を得て実施した。なお、本セミナーに合わせ9月8日に、現地海事関係要人を招待しレセプションを開催した。また、9月10日に、ムンバイ近郊のバラチ造船所を視察した。

1) インド船用工業セミナーへの参加

① セミナー概要

開催期間：2009年9月9日(水) [1日間]

開催場所：インド・ムンバイ市 (TRIDENT Nariman Point, The Regal Room)

参加社：20社 (講師派遣11社、パネル出品1社、団員派遣8社)

(講師派遣)

| | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| (株) 赤 阪 鐵 工 所 | かもめプロペラ(株) | (株) サ サ ク ラ |
| ダイハツディーゼル(株) | 大 洋 電 機 (株) | ナカシマプロペラ(株) |
| 新 潟 原 動 機 (株) | 日本船用エレクトロニクス(株) | 日 本 無 線 (株) |
| 三 菱 重 工 業 (株) | ヤ ン マ ー (株) | |

(パネル展示)

真 鍋 造 機 (株)

(団員派遣)

| | | |
|-------------|----------------|---------------------|
| 渦 潮 電 機 (株) | エムシートレーディング(株) | 双日マリンアンドエンジニアリング(株) |
| 日本プスネス(株) | 阪神内燃機工業(株) | 富 士 貿 易 (株) |
| (株) マ キ タ | 山 科 精 器 (株) | |

(4) SEA JAPAN 2010 国際海事展への参加準備

1) 展示会概要

開催期間：2010年4月21日(水)～4月23日(金) [3日間]

開催場所：東京ビッグサイト（東京国際展示場） 東4・東5ホール

2) 当工業会の参加概要

出展面積：846㎡

出品者数：41社

(スペース出展)

| | | |
|------------------|-------------------|-----------------|
| (株) 赤坂鐵工所 | 伊吹工業(株) | (株) 宇津木計器 |
| (株) ウツズ | オルボグ・インダストリーズ(株) | ガイスリンガー(株) |
| 神奈川機器工業(株) | (株) ケーイーアイシステム | (株) コンヒラ |
| (株) サクシオン瓦斯機関製作所 | (株) ジェー・アール・シー・エス | JFEエンジニアリング(株) |
| ジャパンハムワージ(株) | (株) 湘南工作所 | (株) 関ヶ原製作所 |
| 大晃機械工業(株) | (株) 大晃産業 | ダイハツディーゼル(株) |
| (株) 田邊空気機械製作所 | (株) 帝国機械製作所 | 寺崎電気産業(株) |
| 東京計器(株) | ナカシマプロペラ(株) | (株) 浪速ポンプ製作所 |
| ナブテスコ(株) | 西芝電機(株) | 日本船用エレクトロニクス(株) |
| 日本無線(株) | (株) 日立ニコトランスミッション | 富士貿易(株) |
| 兵神機械工業(株) | ボルカノ(株) | 眞鍋造機(株) |
| 三井造船(株) | 三菱化工機(株) | (株) 村山電機製作所 |
| 山科精機(株) | (株) 山武 | ヤンマー(株) |
| 郵船商事(株) | 横河電子機器(株) | |

5. 協力事業

(1) 造船関連海外情報収集及び海外業務協力（(財)日本船舶技術研究協会への協力）

- ・海外市場、海外企業の動向等についての各種調査・情報収集を行うため、(財)日本船舶技術研究協会に協力して、ジェトロ共同事務所（ロンドン、シンガポール、上海の3カ所）の運営を行っている。

1) 各事務所の主な業務

- 当該国及び近隣国の船用工業の動向調査をはじめ、海運、造船等に関する調査及び情報の収集活動
- 我が国船用工業に関する広報宣伝活動
- 各国政府及び関係機関との情報交換及び交流の促進
- 各種会議、セミナー等への出席
- 各種調査団及び訪問者に対する連絡、アテンド等
- 各種引合等の斡旋

2) 各事務所における調査等

① ジェトロ・シンガポールセンター

- 東南アジア造船関連レポート28

- ベトナムにおける我が国船用工業の投資・輸出環境に関する調査
- フィリピンの海事産業に関する調査
- フィリピン内航海運における我が国舶用品の潜在需要調査
- アジアマリンニュース・第186号～197号を発行

② ジェトロ・上海センター

- 我が国船用工業の中国における投資環境調査
- 中国造船企業の事業概況2009年
- 中国におけるプレジャーボート基準・標準等に関する調査
- 中国海事通信・第148～170号

③ ロンドン

- 欧州の有力船用機器メーカーの経営戦略調査
- 欧州船用工業概況2009年度版
- Euro info at a glance No.2615 ～No.2994

(2) 艦船用電気機器に関する調査研究（防衛省への協力）

- ・防衛省から「艦船検査共通仕様書（電気部材料及び部品検査）改正原案の作成」、「船舶設計基準解説（電気部）の基礎資料の作成」、「艦船電気装備品に関する技術資料の作成」を受託し、次のとおり技術資料を作成した。また、「R○HS指令等の防衛装備品への適合性についての検討並びに盤内電線のノンハロゲン化及び低発煙化を図るための検討」（WG）を行った。

1) 艦船検査共通仕様書（電気部材料及び部品検査）改正原案の作成

艦船検査共通仕様書（電気部材料及び部品検査）について、検査項目、実施要領、規格、検査方式、検査区分等の必要事項について検討し、技術資料を作成した。

2) 艦船電気装備品に関する技術資料の作成

平成14年度作業以降の水上艦船について、電気機器のデータブックを作成した。

3) 船舶設計基準解説（電気部）基礎資料の作成

船舶設計基準解説(SDN)の制定を目的としたその電気装置設計に係る基礎資料を作成した。

4) R○HS指令等の防衛装備品への適合性についての検討、並びに盤内電線のノンハロゲン化及び低発煙化を図るための検討（WG）

R○HS指令対象物質への対応並びに盤内電線の現状について調査を行い、その結果を分析・検討し、技術資料を作成した。

6. 一般事業

(1) 公益法人改革等への対応

- ・公益法人制度改革に関する各種の説明会等に参加し、情報収集等を行い、国土交通省海事局とも相談しながら事務局内に設けた公益法人改革WGを2回開催し、当工業会顧問公認会計士の意見等も徴しながら、移行申請に当たっての問題点等を検討した。

- ・2月に開催した第224回政策委員会において、公益法人改革に伴い一般社団法人への移行作業スケジュール等申請計画案について審議した結果、了承された。
- ・政策委員会の下に「公益法人制度改革検討小委員会」（仮称）を設置し、小委員長には畑山副会長に就任していただくことが了承された。
- ・平成22年3月に開催した第249回理事会において、政策委員会での審議結果を報告し了承された。

（2）会員サービスの充実

- ・会員各社を個別に訪問することにより、会員の要望を把握し、当工業会の事業への反映に努めた。

1) 当工業会ホームページの充実

- ・ホームページを利用して会員企業に役立つ最新の統計、国内外の海事情報の提供、さらにはホームページ内の会員、取扱い品目についての見直し作業を行うなどの充実に努めた。
- ・平成21年度のホームページ情報サービス・ステーションへのアクセス数（事務局関係者は除く）は、以下のとおりである。

総リクエスト数：3, 105, 994件（1日の平均リクエスト数：8, 510件）

2) 業界対策、金融・税制に関する陳情等

① 平成21年度税制改正に関する要望

- ・上記の調査結果を踏まえ、11月に政府及び自民党交通部会に対して、下記の要望を行った。

a. 平成20年度で適用期限切れとなる租税特別措置等の延長

- 公害防止用設備の特例償却
- 産業活力再生特別措置法の事業革新設備を導入する旨の記載がある計画の認定事業者が取得等をする特定の事業革新設備に対する特別償却
- 産業活力再生特別措置法に基づく認定事業再構築計画等に従って取得した場合における不動産に係る課税標準の特例
- 中小企業者の新たな事業活動の促進に関する法律に基づく経営革新計画に従って取得した場合等の特別償却又は税額控除（中小企業等基盤整備強化税制）

b. 税制措置要望

- 企業の国際競争力確保並びに外国企業の国内投資促進上、世界的に高水準にある法人税（含地方税）の実効税率の引下げ
- 海外子会社からの配当所得にかかる益金不算入制度の創設（国外所得免除方式の導入）
- 特殊支配同族会社の役員給与の損金算入制度の措置の廃止
- 欠損金の繰戻しによる還付制度の復活
- 会計と税務の乖離が進み、申告調整事項が増加している現況に鑑み、税務上の取扱は企業会計上の取扱に一致させ、税務手続きを簡素化

② 国際取引の斡旋等

- ・ J E T R O 共同事務所及び海外の顧客からの製品や部品の引合を関係会員に斡旋するとともに、海外の関係者からの問い合わせ、資料の提供等の要望に対応した。

(3) 関係機関・団体との連絡協調

- ・平成21年度における他団体の委員会等への参加並びに役員への就任状況は、付表6.「他団体の委員会等への参加状況一覧」のとおりである。

(4) 広報活動

1) 会報「舶」を発行

- ・当会並びに当会会員の事業活動を広報するとともに、会員に対する情報サービスの提供を目的に発行している機関誌、会報「舶」を年4回発刊した。

2) 当工業会のパンフレット等の発行

- ・当工業会のパンフレットとして、和英両文併記の「J S M E A」を発刊した。
- ・海外展示会等で配布するため、英文の会員名簿を発刊した。

3) 記者発表

- ・ 4月22日 ノル SHIPPING 2009 展示会参加
- ・ 6月23日 乗船研修実施について
- ・ 6月24日 ノル SHIPPING 2009 展示会成功裡に閉幕
- ・ 6月24日 ポンプメーカー6社が韓国模倣品会社4社と和解成立
- ・ 7月 1日 インド・ムンバイで「船用工業セミナー」を開催
- ・ 7月10日 エンジンメーカー2社が模倣品販売業者2社と和解成立
- ・ 7月10日 平成21年度「船用マイスター」認定に係わる応募結果について
- ・ 7月21日 「各国船用機関の生産動向」第34号刊行について
- ・ 8月16日 第15回船用技術フォーラムの開催について
- ・ 9月16日 第15回船用技術フォーラムの開催結果について
- ・ 9月18日 平成21年度 人材確保・養成対策事業の実施について
- ・ 9月25日 平成20年度インド船用工業セミナーの実施について
- ・ 9月30日 平成21年度寄付講義の開催について
- ・ 10月 5日 平成21年度景況感調査結果について
- ・ 10月 9日 「東京海洋大学にて平成21年度寄付講義がスタート」
- ・ 11月24日 マリンテックチャイナ2009展示参加について
- ・ 11月25日 平成21年度社会人教育講座「海運・造船概論」の開催について

- ・ 12月15日 マリンテックチャイナ2009展示に参加
- ・ 1月28日 「スーパークリーンマリンディーゼル研究開発」中間発表会の開催について
- ・ 2月 8日 材料宣誓書等の作成のための説明会の開催について
- ・ 3月 3日 材料宣誓書等の作成のための説明会の開催結果について
- ・ 3月 4日 船用実践英語講座終了について
- ・ 3月 9日 アクションプラン2010について
- ・ 3月10日 ベトシップ2010展示会参加について

(5) 表彰に関する業務

1) 船用工業功労者等の顕彰

- ・ 海事功労者に対して、各種の国家的顕彰（叙勲、褒章、国土交通大臣表彰、地方運輸局長表彰等）が行われているが、当工業会では、会員の中から該当する方を当局に推薦した。
- ・ なお、本年度における当工業会関係の受章者は次のとおりである。

① 叙 勲（役職は受章時）

（平成21年秋）

冠 信也氏 今治ヤンマー(株) 代表取締役会長

② 褒 章（役職は受章時・順不同）

（平成21年春）

宇津木 洋三氏 (株)宇津木計器 取締役会長（当会理事）

濱 中英男氏 濱中製鎖工業(株) 代表取締役社長（当会理事）

（平成21年秋）

友 藤 公雄氏 兵神機械工業(株) 代表取締役社長（当会理事）

高 階 尚也氏 高階救命器具(株) 代表取締役会長（当会評議員）

③ 海の日国土交通大臣表彰（役職は受章時・順不同）

山 田 信三氏 大洋電機(株) 代表取締役社長（海事功労）

古 川 與四郎氏 ダイハツディーゼル(株) 代表取締役社長（海事功労）

松 村 紀孝氏 (株)スタビロ 代表取締役社長（海事功労）

佐 藤 政允氏 大東ポンプ工業(株) 代表取締役社長（海事功労）

古 谷 修治氏 船用電球(株) 代表取締役社長（海事功労）

西 野 弘氏 佐世保重工業(株) 機械製造部（顕著な功績）

大 森 幸夫氏 岡本鉄工合資会社 製造部（顕著な功績）

④ ものづくり日本大賞総理大臣表彰（ものづくりを支える高度な技能分野）

井 手 眞一郎氏 東亜工機(株) 範 師

⑤ 地方運輸局長表彰（役職は申請時・順不同）

（関東運輸局）

秋田 隆 氏 ターボシステムズユニテッド(株) 代表取締役社長（海事功労）
脇 憲一 氏 東京計器(株) 取締役社長（海事功労）

（近畿運輸局）

中野 克彦 氏 (株)帝国機械製作所 代表取締役社長（海事功労）
大谷 昌隆 氏 (株)サクラ 常務取締役（海事功労）
宮田 博 氏 ダイハツディーゼル(株) 常務取締役（海事功労）
新宅 章弘 氏 伊吹工業(株) 取締役副社長（発明）

（注）海の日大臣表彰及び地方運輸局長表彰については、海事関係事業功労者と顕著な功績の方、また局長表彰に関しては、海事関係事業功労者と発明考案のみを掲載した。

2) 海の貢献賞（社会貢献支援財団）

・社会貢献支援財団が行っている「海の貢献賞」について、当工業会から同財団に推薦し、次の方が受賞された。

直島 正三 氏 (株)ショウエイ

(6) 見学会、懇親会等の開催

・下記の通り、総会懇親会、秋の地方大会、年末懇親会、新年賀詞交換会等を開催し、会員相互の親睦を図った。なお、新年賀詞交換会については、昨年と同様（社）日本中小型造船工業会との共催で開催した。

- 総会懇親会（5月21日 東京 東海大学校友会館）
- 秋の地方大会（10月1日～2日 石川県 ジェイ・バス(株)、河鹿荘ロイヤルホテル）
- 年末懇親会（12月17日 大阪 ホテルグランヴィア大阪）
- 新年賀詞交換会（1月7日 東京 東海大学校友会館）

(7) その他

1) 監事による事業及び会計監査

・平成20年度事業の実施状況、会計処理等については、5月12日に当工業会会議室において監事による監査が行われ、いずれも適正に遂行されていることが確認された。

2) 監督官庁による平成20年度業務監査

・1月26日に、監督官庁である国土交通省並びに経済産業省より「公益法人の設立及び監査に関する規則」に基づき、平成19年度及び20年度の業務監査が行われ、何れも適正に遂行してい

ることが確認された。

- ・ 2月4日に、日本財団並びに㈱リサーチ・アンド・デベロップメントより、当会の事業評価報告書の説明を受け、当会が優秀な水準にある旨説明を受けた。

3) 日本財団による基盤助成事業及び助成事業の監査

- ・ 日本財団監査部による監査が次の通り行われ、いずれも適正に遂行していることが確認された。

①平成20年度の日本財団の基盤整備助成事業（8月25日）

②平成20年度助成事業

（6月25日）

- ・ 船舶復原性能監視装置の技術開発
- ・ 舵取機用光学式舵角検出装置の技術開発
- ・ 船用機器に係るICタグを活用した情報の共通利用に関する調査研究

（10月13日）

- ・ 省エネ型油槽ポンプ駆動用蒸気タービンの技術開発
- ・ 救命胴衣用位置検索装置の技術開発
- ・ 船用工業の海外海事展への参加
- ・ 船用工業海外セミナーの開催

4) (財)日本船舶技術研究協会によるJETRO共同事務所の運営監査

- ・ JETRO共同事務所の運営について、8月27日に当工業会会議室において、(財)日本船舶技術研究協会による監査が行われ、いずれも適正に遂行されていることが確認された。

7. 会議の開催

(1) 総 会

○ 第44回通常総会（5月21日 東京 東海大学校友会館 望星の間）

- ・ 下記の議案が審議され、全て原案通り承認された。
 - 第1号議案 平成20年度事業報告案の承認に関する件
 - 第2号議案 平成20年度決算報告案の承認に関する件
 - 第3号議案 平成21年度事業計画案の審議に関する件
 - 第4号議案 平成21年度収支予算案の審議に関する件
 - 第5号議案 平成22年度日本財団・助成金の交付申請権限を理事会に一任することに関する件
 - 第6号議案 任期満了に伴う役員等の改選に関する件
- ・ 任期満了に伴い、理事55名、監事3名、常任評議員25名、評議員35名が選任された。

(2) 理 事 会

1) 第245回(5月21日 東京 東海大学校友会館・望星の間)

① 第44回通常総会附議事項に関する件

- ・同日開催される第44回通常総会に附議される次の議案について審議し、原案どおり承認された。
 - 平成20年度事業報告案に関する件
 - 平成20年度決算報告案に関する件
 - 平成22年度日本財団・助成金の交付申請権限を理事会に一任することに関する件
 - 任期満了に伴う役員等の改選に関する件

② 顧問の委嘱に関する件

- ・顧問の任期満了に伴い、引き続き以下の6名に当工業会顧問を委嘱することが承認された。(敬称略)

| | |
|-------|----------|
| 安藤 豊久 | 元当工業会副会長 |
| 石井 和也 | 学識経験者 |
| 木下 正利 | 元当工業会副会長 |
| 筒井 数三 | 元当工業会副会長 |
| 戸田 邦司 | 学識経験者 |
| 古野 清賢 | 元当工業会副会長 |

③ 新入会員の承認に関する件

- ・次の法人の入会が承認された。(敬称略)

(普通会員)

| | | |
|------------|-------------|-------|
| (株)ケイアンドケイ | 代表者：代表取締役 | 倉地 和雄 |
| 品川 重工(株) | 代表者：代表取締役社長 | 東 一夫 |
| 北海道ニチモウ(株) | 代表者：代表取締役社長 | 中谷 光政 |

2) 臨時理事会(5月21日 東京 東海大学校友会館)

- ・第44回通常総会を中断して開催し、次の事項を議決した。

○ 理事による互選について

- ・当工業会会長・副会長・常勤役員として、次の者が選出された。(敬称略)

| | | | |
|---------|---------|-------------------|------|
| 会 長 | 赤 阪 全 七 | (株) 赤 阪 鐵 工 所 | (重任) |
| 副 会 長 | 石 橋 德 憲 | ダイハツディーゼル(株) | (重任) |
| 〃 | 藤 本 幸 延 | 富 士 貿 易 (株) | (重任) |
| 〃 | 板 澤 宏 | か も め プ ロ ペ ラ (株) | (重任) |
| 〃 | 畑 山 哲 三 | ヤ ン マ ー (株) | (新任) |
| 〃 | 筒 井 幹 治 | (株) シ ン コ ー | (新任) |
| 専 務 理 事 | 北 村 正 一 | 常 勤 | (新任) |
| 常 務 理 事 | 辻 一 郎 | 常 勤 | (重任) |
| 〃 | 小 坂 光 雄 | 常 勤 | (新任) |

○ 顧問の委嘱について

- ・議長より、今回専務理事を退任された次の方に顧問を委嘱したい旨提案があり、出席理事一同に諮ったところ、満場一致をもって顧問を委嘱することが了承、議決された。

山下 暁 前当工業会専務理事 (平成21年5月21日就任)

3) 第246回(7月16日 大阪 ホテルグランヴィア大阪・名庭の間)

① 業務の進捗状況(平成21年4月~7月)について

② 役員等の一部交替の承認に関する件

- ・次の交替が承認された。(敬称略)

| (役 名) | (会 社 名) | (新) | (旧) |
|-------|-------------------|---------|-------------|
| 理 事 | 日本ピストンリング(株) | 高 橋 重 夫 | 吉 永 汎 |
| 〃 | 三 井 造 船 (株) | 田 中 孝 雄 | 櫻 井 眞 |
| 常任評議員 | (株) I H I 回 転 機 械 | 根 本 徹 | 水 品 誠 一 郎 |
| 〃 | 三井造船マシナリー・サービス(株) | 黒 瀬 外 善 | 遠 山 望 |
| 評 議 員 | 日 本 プ ス ネ ス (株) | 大 塚 正 | 蒲 原 幸 紀 |
| 〃 | フジオーゼックス(株) | 宮 本 明 義 | 野 地 俊 廣 |
| 〃 | ボ ッ シ ュ (株) | 織 田 秀 明 | ステファン・ストッカー |

③ 新入会員の承認に関する件

- ・次の法人の入会が承認された。(敬称略)

(普通会員)

有限会社エム・エス・ワイ 代表者：代表取締役 神谷周作

4) 第247回(10月29日 東京 東海大学校友会館・望星の間)

① 業務の進捗状況(7月~10月)について

② 平成22年度日本財団助成事業申請(案)に関する件

- ・平成22年度日本財団助成事業として、10事業で468,700千円(事業費総額)、352,400千円(助成金期待額)及び基盤整備助成金58,000千円を申請することが議決された。

③ 役員等の一部交替の承認に関する件

- ・次の交替が承認された。(敬称略)

| (役 名) | (会 社 名) | (新) | (旧) |
|-------|------------|---------|---------|
| 常任評議員 | ミカドジャパン(株) | 中 島 祐 介 | 河 野 純 也 |

④ 新入会員の承認に関する件

- ・次の法人の入会が承認された。(敬称略)

(賛助会員)

本瓦造船(株) 代表者：代表取締役社長 本瓦誠志

⑤ 理事会終了後、第3回船用マイスター認定証交付式を執り行った。

5) 第248回(12月17日 大阪 ホテルグランヴィア大阪・名庭の間)

① 業務の進捗状況(平成21年10月~12月)について

② 役員等の一部交替の承認に関する件

・次の交替が承認された。(敬称略)

| (役 名) | (会 社 名) | (新) | (旧) |
|-------|-----------------|---------|---------|
| 評議員 | 三井ミーハナイト・メタル(株) | 竹 中 厚 二 | 内 田 省 寿 |

③ 新入会員の承認に関する件

・次の法人の入会が承認された。(敬称略)

(普通会員)

(株)東 化 工 代表者:代表取締役社長 東 正 躬

6) 第249回(3月25日 東京 東海大学校友会館・望星の間)

① 業務の進捗状況(平成21年12月~平成22年3月)について

② 平成22年度事業計画(案)及び平成22年度収支予算(案)に関する件

・平成22年度事業計画(案)並びに収支予算(案)が承認された。また、両案は、第45回通常総会へ上程することが承認された。

③ 新入会員の承認に関する件

・次の法人の入会が承認された。(敬称略)

(普通会員)

原田産業(株) 代表者:代表取締役社長 原 田 壽 夫

(株)横浜通商 代表者:代表取締役 田 中 要 助

(賛助会員)

堺化学工業(株) 代表者:常務取締役 馬 場 敏 勝

④ その他

・秋の地方大会について

(3) 評議員会

○ 第23回(4月9日 船の科学館 マーメイドホール)

・次の事項について評議し、了承された。また、会議終了後に船の科学館の見学会を行った。

- 日船工アクションプラン(2009年)について
- 船用機器の機能別統合化に関する調査研究
- 人材確保・養成対策事業の進捗状況について
- 新製品開発活性化のための支援事業等について
- 平成21年度国際関係事業について

- 秋の地方大会について

(4) 政策委員会

1) 政策委員会

① 第222回（7月16日 大阪・ホテルグランヴィア大阪 名庭の間）

- 委員長の互選について
- 新委員の紹介
- 政策委員会関係小委員会について
- 平成22年度日本財団助成事業について
- 船用機器の模倣品対策について
- その他

② 第223回（10月9日 東京 東海大学校友会館 阿蘇の間）

- 平成22年度日本財団助成事業申請（案）について
- シップリサイクル条約の概要について
- 小委員会における検討状況について
- インドセミナーの実施報告
- (財) 日本海事協会との懇談会について
- KOMEAとの懇談会について
- 当面の行事予定について
- その他

③ 第224回（2月18日 東京 東海大学校友会館・霞の間）

- 平成22年度日本財団助成事業内々示について
- 日船工アクションプラン2009年の実施状況並びに同2010（案）について
- 環境問題に対応した船用機器開発に関する勉強会について
- 新入会員申込者について
- 展示会関係について
- 第31回秋の地方大会について（案）
- 一般社団法人移行申請計画（案）について
- 平成21年度設備資金融資状況について
- その他

2) 技術開発戦略検討小委員会

① 第21回（2月18日 東京 当工業会会議室）

- 新製品開発支援事業等の進捗状況について
- 平成22年度の日本財団へ申請した新製品開発支援事業について

- 今後の技術開発のあり方等について

3) グローバル戦略検討小委員会

① 第15回 (5月12日 横浜 横浜エクセルホテル東急)

- インドセミナーの開催等平成21年度国際関係事業について
- 当会が国際展示会等で使用する統一したロゴマーク等について

② 第16回 (2月17日 横浜 横浜国際ホテル)

- 平成22年度事業計画について
- 平成22年度日本財団助成事業の内々示について
- 事業実施等の再検討について
- 「展示会等WG」を設立することについて

4) 人材確保・養成対策検討小委員会

① 第10回 (9月17日 東京 当工業会会議室)

- 平成21年度の船用マイスターの認定について
- 寄付講義について
- 「社会人教育 (乗船研修、船用講座「海運・造船概論」並びに「船用実践英語 (サービスエンジニアのための実践英語)」) について
- 業界説明会等の事業の実施方法等について

② 第11回 (3月10日 東京 当工業会会議室)

- 平成21年度事業の実施報告について
- 平成22年度事業計画について
- 「船用マイスター」認定申請募集要領の一部見直しについて
- 社会人教育講座「海運・造船概論」の平成22年度計画について
- リクルートパンフレット案について

5) 海運・造船概論WG

① 第2回 (8月27日 東京 当工業会会議室)

- ・ 講座内容に関するアンケート調査結果をもとに意見交換を行った。

6) 船用実践英語WG

① 第1回 (9月1日 岡山 ナカシマプロペラ株)

- 船用実践英語講座の実施方法等について

7) 船用工業懇話会

- ・ 11月27日に第5回懇話会を開催し、業界を取り巻く状況等について意見交換を行った。

8) 船用次世代経営者等会議

・第10回（7月9日 岡山） 第11回（11月18日 東京）

(5) 業種別部会

1) 大形機関部会

第3回（7月31日 大阪） 第4回（11月24日 大阪）

・大形機関部会・中形機関部会合同会議

第4回（11月24日 東京）

・大形機関業務委員会

第162回（7月15日 東京） 第163回（11月24日 東京）

・大形機関技術委員会・中形機関技術委員会・小形高速機関技術委員会 合同会議

第1回（5月15日 東京） 第2回（8月5日 東京） 第3回（10月29日 東京）

第4回（3月5日 東京）

・小形高速機関技術委員会

第35回（10月19日 東京） 第36回（10月29日 東京）

第37回（3月5日 東京）

2) 中形機関部会

第11回（7月28日 東京）

・大形機関部会・中形機関部会合同会議

第12回（11月24日 東京）

・中形機関業務委員会

第9回（8月25日 東京） 第10回（1月26日 東京）

・小形高速機関WG

第16回（4月16日 東京） 第17回（7月23日 大阪&尼崎）

第18回（10月19日 東京） 第19回（1月19日 東京）

・船用燃料油検討小委員会

第9回（4月15日 東京） 第10回（6月3日 東京） 第11回（8月26日 東京）

第12回（11月19日 東京） 第13回（3月4日 東京）

3) 補助ボイラ部会

第7回（9月14日 大阪）

4) ポンプ部会

第8回（7月30日 大阪） 第9回（11月6日 広島）

5) 冷凍・空調部会

第23回（3月4日 大阪）

・冷凍・空調業務委員会

第2回（6月3日大阪） 第3回（9月28日大阪） 第4回（3月4日大阪）

6) プロペラ部会

第193回（1月27日 横浜）

7) 減揺装置部会

第24回(1月7日 東京)

8) 航海計器部会

第13回(3月9日 東京)

9) 計測器部会

第46回(9月4日 東京) 第47回(11月26日 東京)

10) 甲板機械部会

第17回(7月24日 東京) 第18回(11月18日 東京) 第19回(2月17日 東京)

11) 熱交換器部会

第14回(5月12日 広島) 第15回(8月6日 大阪) 第16回(12月2日 東京)

12) 油水分離装置部会

第19回(4月14日 東京) 第20回(10月14日 東京) 第21回(11月5日 東京)
第22回(3月10日 東京)

(6) 事業別委員会

1) 艦船電気機器技術委員会

第29回(6月26日 東京)

・艦船幹事会

第1回(4月24日 東京) 第2回(5月20日 東京) 第3回(6月19日 東京)

・艦船検査共通仕様書小委員会

第1回(10月7日 東京) 第2回(11月25日 東京)
第3回(1月27日 東京) 第4回(3月3日 東京)

・データブック小委員会

第1回(10月21日 東京) 第2回(2月18・19日 北海道) 第3回(3月2日 東京)

・SDN小委員会

第1回(9月3日 東京) 第2回(10月14日 東京)
第3回(11月16日・17日 東京) 第4回(12月16日・17日 東京)
第5回(2月2日・3日 東京) 第6回(2月26日 東京)

・環境対策小委員会WG

第1回(9月18日 東京) 第2回(11月4日 東京) 第3回(2月24日 東京)

2) 船用工業シップリサイクル問題検討小委員会

第9回(12月15日 東京)

(7) 特別委員会

1) 技術開発評価委員会

第7回（9月8日 東京）

2) PL特別委員会

第22回（6月26日付 書面） 第23回（7月13日付 書面）

(8) 協議会・研究会等

1) 模倣品対策協議会

第11回（3月24日 東京）

・幹事会

第10回（9月29日 東京） 第11回（1月28日 東京）

2) 船用次世代経営者等会議（略称：次世代会）

第10回（7月9日 岡山） 第11回（11月18日東京）

・幹事会

第1回（8月18日 東京） 第2回（2月22日 書面）

3) 平成21年度 船内LAN研究会

第1回（4月9日 東京） 第2回（5月18日 東京） 第3回（7月6日 東京）

第4回（9月16日 東京） 第5回（12月17日 東京） 第6回（2月18日 東京）

4) 船用機器に係わるICTタグを活用した情報の共通利用に関する調査研究連絡会

第1回（6月24日 東京） 第2回（9月9日 東京） 第3回（2月9日 東京）

5) 環境問題に対応した船用機器開発に関する勉強会

第1回（4月21日 東京） 第2回（6月8日 東京） 第3回（7月28日 東京）

第4回（10月27日 東京）

6) コンテナ型常用発電機装置研究委員会

第1回（5月19日 東京） 第2回（1月21日 宮城）

7) 機器室モジュール化研究会

第1回（6月2日 東京） 第2回（11月27日 東京） 第3回（2月15日 東京）

8) 船用技術フォーラム

第15回（9月15日 東京）

1. 会員及び賛助会員名簿

(平成22年3月31日現在)

(1) 普通会員 (五十音順)

| | | |
|--------------------|---------------------------|--------------------|
| アイエスマシナリーサービスリミテッド | (株) I H I | (株) I H I 回転機械 |
| (株) アイメックス | (株) 相浦機械 | (株) 赤阪鐵工所 |
| (株) 東化工 | イーグル工業(株) | イワキテック(株) |
| (株) 池貝ディーゼル | (株) 石井工作所 | (株) 石垣 |
| (株) 石倉ポンプ製作所 | いすゞ自動車(株) | 伊吹工業(株) |
| (株) ウエイクフィールド | (株) ウツズ | 潮冷熱(株) |
| 渦潮電機(株) | (株) 宇津木計器 | (株) 宇都宮電機製作所 |
| (株) エクセノヤマミズ | (株) S K K | (株) エヌゼットケイ |
| (有) エム・エス・ワイ | (株) オーケーエム | オリジン電気(株) |
| オルボグ・インダストリーズ(株) | (株) 大石電機工業 | (株) 大阪アサヒメタル工場 |
| 大阪送風機製作所 | (株) 大阪ボイラー製作所 | 大西電機工業(株) |
| 岡野電線(株) | 岡本鐵工(資) | ガイスリンガー(株) |
| (株) カシワテック | カヤバ・マックグレゴリー(株) | 神奈川機器工業(株) |
| 金澤鐵工(株) | 鐵萬商事(株) | 神威産業(株) |
| かもめプロペラ(株) | 川崎重工業(株) | (株) 神崎高級工機製作所 |
| キャタピラー・ジャパン(株) | (株) きしろ | 岸上バルブ(株) |
| (株) 北澤電機製作所 | (株) 共立機械製作所 | 共和工業(株) |
| 極洋電機(株) | 久保田工業(株) | (株) 倉本計器精工所 |
| 桑畑電機(株) | (株) ケーイーアイシステム | (株) ケイアンドケイ |
| (株) コーアディーゼル | コマツディーゼル(株) | コンシリアム・ニッタンマリーン(株) |
| (株) コンヒラ | (株) 高工社 | 神戸発動機(株) |
| (株) 五光製作所 | (株) 金剛コルメット製作所 | (株) サクシオン瓦斯機関製作所 |
| (株) ササクラ | (株) サンフレム | 佐世保重工業(株) |
| (株) 三協製作所 | 三工電機(株) | 三信船舶電具(株) |
| 三和鉄工(株) | GEAウエストファリアセパレーター・ジャパン(株) | (株) ジェー・アール・シー・エス |
| J F E エンジニアリング(株) | ジャパン・スチール・コーポレーション(株) | ジャパン・ハムワージ(株) |
| (株) ショウエイ | ジョンソンコントロールズ(株) | (株) シンコー |
| シンコウ・エスビーエー(株) | 品川重工(株) | 島田燈器工業(株) |
| (株) 湘南工作所 | (株) 湘洋エンジニアリング | 昭和産業(株) |
| (株) スタビロ | スターンキーパー(株) | (株) スチールハブ |
| 住友重機械ハイマテックス(株) | 住吉マリンディーゼル(株) | (株) 関ヶ原製作所 |
| 瀬戸内工業(株) | 双日マリンアンドエンジニアリング(株) | ダイキン工業(株) |

| | | |
|--------------------|------------------|----------------------|
| ダイキンMRエンジニアリング(株) | ダイニッカ(株) | ダイハツディーゼル(株) |
| ダイハツディーゼル西日本(株) | ダイハツディーゼル東日本(株) | ターボシステムズユナイテッド(株) |
| 第一電気(株) | 大晃機械工業(株) | 大晃産業(株) |
| 大東ポンプ工業(株) | 大同メタル工業(株) | 大洋電機(株) |
| 高木綱業(株) | 高澤製作所(株) | 高階救命器具(株) |
| 鷹取製作所(株) | 田邊空気機械製作所(株) | 中国塗料(株) |
| 中日輪船商事(株) | ディーゼルユナイテッド(株) | ティービーエム(株) |
| 帝国機械製作所(株) | 寺崎電気産業(株) | 寺本鉄工所(株) |
| トータスエンジニアリング(株) | 東亜工機(株) | 東京計器(株) |
| 東京計装(株) | 東京日進ジャバラ(株) | 東部重工業(株) |
| 東洋エレクトロニクス(株) | 富永物産(株) | ナカシマプロペラ(株) |
| ナカタ・マックコーポレーション(株) | ナブテスコ(株) | 内外製綱(株) |
| 中北製作所(株) | 長崎マリンサービス(株) | 長野計器(株) |
| 中野製作所(株) | 浪速ポンプ製作所(株) | ニュースコープアジアパシフィック(株) |
| 新潟原動機(株) | 新倉工業(株) | 西芝電機(株) |
| 日新興業(株) | 日鍛バルブ(株) | 日本エレクトリック・インスルメント(株) |
| 日本光機工業(株) | 日本製鋼所(株) | 日本船燈(株) |
| 日本ドライケミカル(株) | 日本ノズル精機(株) | 日本船用エレクトロニクス(株) |
| 日本ピストンリング(株) | 日本ピラー工業(株) | 日本プスネス(株) |
| 日本ペイントマリン(株) | 日本無線(株) | 布谷船用計器工業(株) |
| ハーヴェスト(株) | バルチラジャパン(株) | 船用電球(株) |
| 濱中製鎖工業(株) | 早瀬鉄工所(株) | 原田産業(株) |
| 阪神内燃機工業(株) | ヒエン電工(株) | 日阪製作所(株) |
| 日立造船(株) | 日立ニコトランスミッション(株) | 日之出精機(株) |
| 広機工(株) | 広瀬鉄工業(株) | 備後バルブ製造所(株) |
| フェロー工業(株) | フジオーゼックス(株) | 福井製作所(株) |
| 福島製作所(株) | 富士産業(株) | 不二製作所(株) |
| 富士電機システムズ(株) | 富士電機製作所(株) | 富士フィルター工業(株) |
| 富士貿易(株) | 扶桑工業(株) | 双葉テック(株) |
| 古河電工産業電線(株) | 古野電気(株) | ヘンミ(株) |
| 兵神機械工業(株) | 兵神装備(株) | 平和製作所(株) |
| ホーセイ(株) | ポートエンタープライズ(株) | ボッシュ(株) |
| ボルカノ(株) | 北海道ニチモウ(株) | マキタ(株) |
| マツイ(株) | マヤテック(株) | マリンハイドロテック(株) |
| 松井鉄工所(株) | 松原鐵工所(株) | 眞鍋造機(株) |
| 丸上製作所(株) | ミカドジャパン(株) | ミズノマリン(株) |

| | | |
|---------------|-------------------|-----------------|
| 三浦工業(株) | 三河プロペラ(株) | (株)三木電機商会 |
| 三鈴マシナリー(株) | 三井造船(株) | (株)三井造船昭島研究所 |
| 三井造船システム技研(株) | 三井造船マシナリー・サービス(株) | 三井ミーハナイト・メタル(株) |
| 三菱化工機(株) | 三菱重工業(株) | 三元バルブ製造(株) |
| ムサシノ機器(株) | (株)村山電機製作所 | 明陽電機(株) |
| モリマシナリー(株) | 森尾電機(株) | ヤマハ発動機(株) |
| ヤンマー(株) | ヤンマーキャステクノ(株) | 山科精器(株) |
| (株)山武 | 郵船商事(株) | 横河電子機器(株) |
| (株)横浜通商 | (株)リケン | ロクステックジャパン(株) |

(普通会員合計数：231)

(2) 賛助会員

| | | |
|---------------------|--------------------|----------------|
| 今治造船(株) | 今治ヤンマー(株) | エムシートレーディング(株) |
| (株)M T I | (株)大内海洋コンサルタント | (株)大島造船所 |
| (株)KITA ENGINEERING | (株)神戸製鋼所 | 堺化学工業(株) |
| サンビーム SHIPPING(株) | 四国溶材(株) | 商船三井テクノトレード(株) |
| 住友商事(株) | ツネイシホールディングス(株) | 東洋機器(株) |
| ビューローベリタス | 本瓦造船(株) | (株)松井商会 |
| 村上石油(株) | 流体テクノ(有) | 国立大学法人神戸大学 |
| 国立大学法人東京海洋大学 | (独)海上技術安全研究所 | (社)海洋水産システム協会 |
| 漁船保険中央会 | (財)日本海事協会 | (社)日本海難防止協会 |
| (社)日本舟艇工業会 | (社)日本船主協会 | (社)日本船舶機関士協会 |
| (財)日本船舶技術研究協会 | (社)日本船舶電装協会 | (社)日本船舶品質管理協会 |
| (財)日本造船技術センター | (社)日本造船協力事業者団体連合会 | (社)日本造船工業会 |
| (社)日本中小型造船工業会 | 日本内燃機関連合会 | (社)日本舶用機関整備協会 |
| (財)日本舶用品検定協会 | (社)日本マリンエンジニアリング学会 | 北海道舶用工業会 |
| 東北舶用工業会 | 北陸信越舶用工業会 | 関東舶用工業会 |
| 中部舶用工業会 | 近畿舶用工業会 | 神戸舶用工業会 |
| (社)中国舶用工業会 | 四国舶用工業会 | 九州舶用工業会 |
| 沖縄舶用工業会 | | |

(賛助会員合計数：52)

2. 役員名簿

(平成22年3月31日現在)

(氏名 敬称略)

(理事55名、監事3名)

| | | |
|-------|---------|----------------------|
| 会 長 | 赤 阪 全 七 | (株)赤阪鐵工所 代表取締役社長 |
| 副 会 長 | 石 橋 德 憲 | ダイハツディーゼル(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 藤 本 幸 延 | 富士貿易(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 板 澤 宏 | かもめプロペラ(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 畑 山 哲 三 | ヤンマー(株) 代表取締役副社長 |
| 〃 | 筒 井 幹 治 | (株)シンコー 取締役社長 |
| 理 事 | 鶴 鉄 二 | イーグル工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 新 宅 章 生 | 伊吹工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 小 田 雅 人 | 渦潮電機(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 宇津木 洋 三 | (株)宇津木計器 取締役会長 |
| 〃 | 山 元 徹 | (株)大阪ボイラー製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 山 下 義 郎 | (株)カシワテック 代表取締役社長 |
| 〃 | 北 澤 昇 次 | (株)北澤電機製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 桑 畑 芳 郎 | 桑畑電機(株) 取締役会長 |
| 〃 | 矢 野 繁 | 神戸発動機(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 木 内 城 治 | (株)金剛コルメット製作所 取締役会長 |
| 〃 | 笹 倉 敏 彦 | (株)ササクラ 代表取締役社長 |
| 〃 | 山 田 信一郎 | 三信船舶電具(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 照 沼 國 臣 | (株)湘南工作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 木 村 晃 一 | 大晃機械工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 山 田 信 三 | 大洋電機(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 田 邊 誠 | (株)田邊空気機械製作所 代表取締役会長 |
| 〃 | 中 野 克 彦 | (株)帝国機械製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 寺 本 吉 孝 | (株)寺本鉄工所 代表取締役社長 |
| 〃 | 吉 田 博 男 | 東亜工機(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 脇 憲 一 | 東京計器(株) 取締役社長 |
| 〃 | 中 北 健 一 | (株)中北製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 中 島 基 善 | ナカシマプロペラ(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 村 尾 實 | (株)浪速ポンプ製作所 相談役 |
| 〃 | 松 本 和 幸 | ナブテスコ(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 馬 場 五 郎 | 新潟原動機(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 石 井 明 | 西芝電機(株) 代表取締役社長 |

| | | |
|-----|---------|---------------------------|
| 理 事 | 島 井 勝 弘 | 日新興業(株) 代表取締役会長 |
| 〃 | 高 橋 重 夫 | 日本ピストンリング(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 岩 波 清 久 | 日本ピラー工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 諏 訪 頼 久 | 日本無線(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 濱 中 英 男 | 濱中製鎖工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 木 下 和 彦 | 阪神内燃機工業(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 栄 野 隆 | (株)日立ニコトランスミッション 取締役社長 |
| 〃 | 立 石 吉 識 | (株)福島製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 古 野 幸 男 | 古野電気(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 友 藤 公 雄 | 兵神機械工業(株) 取締役社長 |
| 〃 | 沖 原 正 章 | ボルカノ(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 楨 田 實 | (株)マキタ 代表取締役社長 |
| 〃 | 松 井 正 昭 | (株)マツイ 取締役会長 |
| 〃 | 松 井 敏 文 | (株)松井鉄工所 代表取締役社長 |
| 〃 | 田 中 孝 雄 | 三井造船(株) 常務取締役機械・システム事業本部長 |
| 〃 | 波多野 怜 | 三菱化工機(株) 取締役相談役 |
| 〃 | 為 久 博 文 | 三菱重工業(株) 産業エネルギー部長 |
| 〃 | 三 輪 元一郎 | 三元バルブ製造(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 阿 部 正 治 | ムサシノ機器(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 大 日 常 男 | 山科精器(株) 代表取締役社長 |
| 〃 | 北 村 正 一 | 会員外 |
| 〃 | 辻 一 郎 | 会員外 |
| 〃 | 小 坂 光 雄 | 会員外 |
| 監 事 | 竹 内 誠 | (株)サクシヨン瓦斯機関製作所 代表取締役社長 |
| 〃 | 山 田 益 | (株)ティービーエム 代表取締役社長 |
| 〃 | 安 永 勝 宣 | 日本船用エレクトロニクス(株) 代表取締役社長 |

3. 評議員名簿

(平成22年3月31日現在)

(氏名 敬称略)

(1) 常任評議員 (25名)

| | |
|--------|---------------------------|
| 昼間 祐治 | (株)IHI 代表取締役副社長 |
| 根本 徹 | (株)IHI 回転機械 執行役員回転機械事業部長 |
| 石井 常夫 | (株)石井工作所 代表取締役社長 |
| 小田 團 | 潮冷熱(株) 代表取締役会長 |
| 本田 圭佑 | (株)エヌゼットケイ 代表取締役会長 |
| 岡本 圭司 | 岡本鉄工(資) 代表社員 |
| 卜部 礼二郎 | 神奈川機器工業(株) 代表取締役社長 |
| 浅野 雄一 | 川崎重工業(株) 代表取締役常務 |
| 倉本 一宏 | (株)倉本計器精工所 代表取締役社長 |
| 中川 司 | (株)ケーイーアイシステム 代表取締役 |
| 安田 薫 | 三和鉄工(株) 代表取締役社長 |
| 近藤 高一郎 | (株)ジェー・アール・シー・エス 代表取締役社長 |
| 殿岡 茂樹 | JFEエンジニアリング(株) 取締役専務執行役員 |
| 富田 幸雄 | ジャパンハムワージ(株) 代表取締役会長 |
| 佐井 裕正 | 中日輪船商事(株) 代表取締役社長 |
| 小嶋 文稔 | (株)ディーゼルユナイテッド 代表取締役社長 |
| 高橋 久雄 | 日鍛バルブ(株) 代表取締役社長 |
| 大西 立 | バルチラジャパン(株) 代表取締役社長 |
| 古川 実 | 日立造船(株) 代表取締役社長 |
| 小野 純夫 | 兵神装備(株) 代表取締役社長 |
| 眞鍋 三雄 | 眞鍋造機(株) 代表取締役社長 |
| 小松 義博 | (株)丸上製作所 代表取締役社長 |
| 中島 祐介 | ミカドジャパン(株) 代表取締役社長 |
| 黒瀬 外善 | 三井造船マシナリー・サービス(株) 代表取締役社長 |
| 木村 隆昭 | ヤマハ発動機(株) 代表取締役常務執行役員 |

(2) 評議員 (35名)

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 寺尾善弘 | (株)宇都宮電機製作所 取締役会長 |
| 大石哲也 | 大石電機工業(株) 代表取締役社長 |
| 安部研 | (株)大阪アサヒメタル工場 代表取締役社長 |
| 池田忠臣 | 鐵萬商事(株) 代表取締役会長 |
| 十萬幹雄 | 神威産業(株) 代表取締役社長 |
| 山岡靖幸 | (株)神崎高級工機製作所 代表取締役社長 |
| 橋本更 | (株)五光製作所 代表取締役社長 |
| 田中靖生 | (株)サンフレム 取締役会長 |
| 林茂樹 | 住友重機械ハイマテックス(株) 代表取締役社長 |
| 矢橋昭三郎 | (株)関ヶ原製作所 代表取締役会長 |
| 杉島一次 | ダイハツディーゼル西日本(株) 代表取締役社長 |
| 高澤功一 | (株)高澤製作所 代表取締役 |
| 高階尚也 | 高階救命器具(株) 代表取締役会長 |
| 山住哲夫 | 中国塗料(株) 代表取締役社長 |
| 藤田正一 | 寺崎電気産業(株) 代表取締役社長 |
| 竹橋信次 | 東洋エレクトロニクス(株) 代表取締役社長 |
| 谷口宏造 | トータスエンジニアリング(株) 代表取締役社長 |
| 村井悦夫 | (株)日本製鋼所 取締役 |
| 伊勢淳二 | 日本船燈(株) 代表取締役社長 |
| 松岡弘憲 | 日本ノズル精機(株) 代表取締役社長 |
| 大塚正 | 日本プスネス(株) 代表取締役社長 |
| 山鳥義夫 | ヒエン電工(株) 代表取締役社長 |
| 宮本明義 | フジオーゼックス(株) 常務取締役 |
| 高野進 | 双葉テック(株) 代表取締役社長 |
| 宇野孝一 | (株)平和製作所 代表取締役社長 |
| 逸見充伸 | (株)ヘンミ 代表取締役 |
| 織田秀明 | ボッシュ(株) 取締役社長 |
| 高橋祐二 | 三浦工業(株) 代表取締役社長 |
| 竹中厚二 | 三井ミーハナイト・メタル(株) 代表取締役社長 |
| 三浦紘二 | 森尾電機(株) 取締役会長 |
| 森徹 | モリマシナリー(株)・取締役社長 |
| 猪野塚正明 | (株)山武 執行役員常務 アトバンスオートメーションカンパニー社長 |
| 井川元雄 | 郵船商事(株) 取締役社長 |
| 坂東日出彦 | 横河電子機器(株) 代表取締役社長 |
| 小泉年永 | (株)リケン 代表取締役会長 |

4. 最高顧問及び顧問名簿

(平成22年3月31日現在)

(氏名 敬称略)

(1) 最高顧問

山岡 淳 男 元当工業会 会長 (平成15年5月22日就任)

(2) 顧 問

安藤 豊 久 元当工業会副会長 (平成19年5月17日就任)

石井 和 也 学識経験者 (平成16年10月16日就任)

木下 正 利 元当工業会副会長 (平成17年1月1日就任)

筒井 數 三 元当工業会副会長 (平成19年5月17日就任)

戸田 邦 司 学識経験者 (平成11年5月20日就任)

古野 清 賢 元当工業会副会長 (平成19年5月17日就任)

5. 委員会名簿

(平成22年3月31日現在)

(氏名 敬称略)

(1) 政策委員会

委員長

石橋 徳 憲 ダイハツディーゼル(株)

委員

新宅 章 生 伊吹工業(株)

小田 雅 人 渦潮電機(株)

宇津木 洋 三 (株)宇津木計器

山下 義 郎 (株)カシワテック

板澤 宏 かもめプロペラ(株)

筒井 幹 治 (株)シンコー

山田 信 三 大洋電機(株)

脇 憲 一 東京計器(株)

中北 健 一 (株)中北製作所

中島 基 善 ナカシマプロペラ(株)

木下 和 彦 阪神内燃機工業(株)

藤本 幸 延 富士貿易(株)

古野 幸 男 古野電気(株)

友藤 公 雄 兵神機械工業(株)

槇田 實 (株)マキタ

松井 正 昭 (株)マツイ

大津 正 樹 三井造船(株)

畑山 哲 三 ヤンマー(株)

大日常 男 山科精器(株)

オブザーバー

赤阪 全 七 (株)赤阪鐵工所

○ 技術開発戦略検討小委員会

委員長

筒井 幹 治 (株)シンコー

委員

板垣 征 伯 渦潮電機(株)

石橋 徳 憲 ダイハツディーゼル(株)

山田 信 三 大洋電機(株)

山田 秀 光 東京計器(株)

中島 基 善 ナカシマプロペラ(株)

石原 眞 次 古野電気(株)

友藤 公 雄 兵神機械工業(株)

井原 浩 ヤンマー(株)

アドバイザー

小山 健 夫 東京大学

矢吹 捷 一 (社)日本マリンエンジニアリング学会

今津 隼 馬 東京海洋大学

畔津 昭 彦 東海大学

橋本 雅 方 (独)海上技術安全研究所

大内 一 之 (株)大内海洋コンサルタント

○ グローバル戦略検討小委員会

委員長

藤本 幸 延 富士貿易(株)

委 員

| | | | |
|---------|------------|---------|--------------|
| 小 田 雅 人 | 渦潮電機(株) | 板 澤 宏 | かもめプロペラ(株) |
| 柏 原 克 敏 | 三信船舶電具(株) | 筒 井 幹 治 | (株)シンコー |
| 木 村 晃 一 | 大晃機械工業(株) | 石 橋 德 憲 | ダイハツディーゼル(株) |
| 山 田 信 三 | 大洋電機(株) | 高 階 尚 也 | 高階救命器具(株) |
| 田 邊 誠 | (株)田邊空機製作所 | 中 島 基 善 | ナカシマプロペラ(株) |
| 小 林 辰 也 | 日本無線(株) | 阿 部 正 治 | ムサシノ機器(株) |
| 川 添 幸 裕 | ヤンマー(株) | | |

○ 人材確保・養成対策検討小委員会

委員長

板 澤 宏 かもめプロペラ(株)

委 員

| | | | |
|---------|--------------|---------|-----------|
| 佐々木 雄 也 | (株)赤阪鐵工所 | 山 下 義 郎 | (株)カシワテック |
| 本 田 有 志 | (株)エヌ ゼット ケイ | 筒 井 幹 治 | (株)シンコー |
| 宮 内 政 美 | 大洋電機(株) | 脇 憲 一 | 東京計器(株) |
| 中 島 基 善 | ナカシマプロペラ(株) | 大 日 常 男 | 山科精器(株) |
| 中 島 史 雄 | ヤンマー(株) | | |

アドバイザー

| | | | |
|-------|------------|---------|-------------|
| 岡 田 博 | 東京海洋大学名誉教授 | 矢 吹 捷 一 | 元 三井造船(株)顧問 |
| 柿 島 勝 | 公認会計士 | | |

○ 海運・造船概論WG

座 長

山 下 義 郎 (株)カシワテック

委 員

本 田 有 志 (株)エヌ ゼット ケイ ト部 礼二郎 神奈川機器工業(株)

アドバイザー

長 塚 誠 治 海事アナリスト

○ 船用実践英語WG

座 長

伏 見 龍 一 ナカシマプロペラ(株)

委 員

| | | | |
|---------|---------|-------|--------------|
| 柳 井 平 次 | 日本無線(株) | 寺 岡 勇 | ダイハツディーゼル(株) |
| 野 口 信 雄 | ヤンマー(株) | | |

アドバイザー

高木 直之 東京海洋大学

○ 船用工業懇話会

| | | | |
|-------|--------------|-------|--------------|
| 板澤 俊夫 | かもめプロペラ(株) | 山田 澤三 | 大洋電機(株) |
| 石井 和也 | 元運輸省海上技術安全局長 | 戸田 邦司 | 新潟原動機(株) |
| 木下 正利 | 三菱化工機(株) | 筒井 敷三 | (株)シンコー |
| 大石 幸明 | 大石電機工業(株) | 田邊 誠 | (株)田邊空気機械製作所 |
| 古野 清賢 | 古野電気(株) | 千種 一成 | 日新興業(株) |
| 安藤 豊久 | ヤンマー(株) | | |

(2) 業種別部会

1) 大形機関部会

部会長

大津 正樹 三井造船(株)

委員

| | | | |
|--------|----------------|-------|----------------|
| 釣崎 清市郎 | (株)アイメックス | 赤阪 全七 | (株)赤阪鐵工所 |
| 井城 讓治 | 川崎重工業(株) | 矢野 繁 | 神戸発動機(株) |
| 殿岡 茂樹 | JFEエンジニアリング(株) | 小嶋 文稔 | (株)ディーゼルユナイテッド |
| 木下 和彦 | 阪神内燃機工業(株) | 澤田 賢司 | 日立造船(株) |
| 槇田 實 | (株)マキタ | 為久 博文 | 三菱重工業(株) |

○ 大形機関業務委員会

委員長

増田 真博 三井造船(株)

副委員長

山口 泰裕 川崎重工業(株) 道法 幸二 (株)マキタ

委員

| | | | |
|-------|----------------|-------|----------------|
| 福田 政雄 | (株)アイメックス | 竹内 郁夫 | (株)赤阪鐵工所 |
| 篠原 正浩 | 川崎重工業(株) | 森 征洋 | 神戸発動機(株) |
| 池田 慎 | JFEエンジニアリング(株) | 中島 利幸 | (株)ディーゼルユナイテッド |
| 今村 敏人 | 阪神内燃機工業(株) | 大岡 弘明 | 日立造船(株) |
| 藤田 勝也 | 三菱重工業(株) | | |

○ 大形機関技術委員会

委員長

田中春夫 日立造船(株)

委員

山田知夫 日本内燃機関連合会

福田政雄 (株)アイメックス

美澤啓介 (株)赤阪鐵工所

山本寛一 川崎重工業(株)

泉原芳之 神戸発動機(株)

森山功治 (株)ディーゼルユナイテッド

川上雅由 新潟原動機(株)

戸田伸一 JFEエンジニアリング(株)

岡田博之 阪神内燃機工業(株)

木村貢 (株)マキタ

若月祐之 三菱重工業(株)

島田一孝 三井造船(株)

○ 船用燃料油検討小委員会

委員長

近藤守男 三井造船(株)

委員

山田知夫 日本内燃機関連合会

内藤聖司 (株)アイメックス

吉村昇 (株)赤阪鐵工所

山口正隆 川崎重工業(株)

泉原芳之 神戸発動機(株)

近藤博美 ダイハツディーゼル(株)

森山功治 (株)ディーゼルユナイテッド

川元満生 新潟原動機(株)

戸田伸一 JFEエンジニアリング(株)

成田良勝 阪神内燃機工業(株)

寄口征彦 日立造船(株)

木村貢 (株)マキタ

若月祐之 三菱重工業(株)

折野和昭 ヤンマー(株)

岡精一 三菱化工機(株)

桑昭 神奈川機器工業(株)

小林弘幸 (株)リケン

大宮隆雄 日本ピストンリング(株)

武藤幸夫 (株)ウエストファリアセパレータージャパン

○ 中形機関部会

部会長

畑山哲三 ヤンマー(株)

委員

赤坂全七 (株)赤阪鐵工所

石橋徳憲 ダイハツディーゼル(株)

馬場五郎 新潟原動機(株)

木下和彦 阪神内燃機工業(株)

○ 中小形機関業務委員会

委員長

竹田 寿彦 ダイハツディーゼル(株)

副委員長

奥本 節夫 ヤンマー(株)

委員

| | | | |
|---------|-------------------|---------|---------------|
| 原野谷 昌弘 | (株)赤阪鐵工所 | 永 友 秀 徳 | いすゞマリン製造(株) |
| 高 田 明 | (株)池貝ディーゼル | 大 橋 英 雄 | キャタピラージャパン(株) |
| 佐 藤 一 博 | コマツディーゼル(株) | 長谷川 政 敏 | 住吉マリンディーゼル(株) |
| 小 西 昭 夫 | 新潟原動機(株) | 高 宮 直 親 | 阪神内燃機工業(株) |
| 大 西 正 彦 | (株)松井鐵工所 | 長 沢 克 美 | 三菱重工業(株) |
| 太 田 普 晶 | 三井造船マシナリー・サービス(株) | 狩 野 英 一 | ヤマハ発動機(株) |

○ 小形高速機関WG

座 長

玉 置 純 ヤンマー(株)

委員

| | | | |
|---------|-----------------|---------|---------------|
| 永 友 秀 徳 | いすゞマリン製造(株) | 大 橋 英 雄 | キャタピラージャパン(株) |
| 佐 藤 知 成 | コマツディーゼル(株) | 小 西 昭 夫 | 新潟原動機(株) |
| 常 田 貴 之 | ボルボ・ペンタ・ジャパン | 長 沢 克 美 | 三菱重工業(株) |
| 山 下 義 信 | 三菱重工エンジンシステム(株) | 永 田 繁 雄 | ヤンマー船用システム(株) |
| 狩 野 英 一 | ヤマハ発動機(株) | 谷 本 一 志 | ヤマハ発動機(株) |

○ 補修用部品対策業務委員会

委員

| | |
|-------------|--------------------|
| (株)赤阪鐵工所 | いすゞマリン製造(株) |
| (株)池貝ディーゼル | 神戸発動機(株) |
| コマツディーゼル(株) | ダイハツディーゼル部品サービス(株) |
| 新潟原動機(株) | 日産ディーゼル工業(株) |
| 阪神内燃機工業(株) | (株)マキタ |
| (株)松井鐵工所 | 三井造船マシナリー・サービス(株) |
| 三菱重工業(株) | ヤマハ発動機(株) |
| ヤンマー(株) | |

○ 中形機関技術委員会

委員長

川上 雅由 新潟原動機(株)

委員

| | | | |
|--------|--------------|-------|----------------|
| 美澤 啓介 | (株)赤阪鐵工所 | 泉原 芳之 | 神戸発動機(株) |
| 近藤 博美 | ダイハツディーゼル(株) | 戸田 伸一 | JFEエンジニアリング(株) |
| 岡田 博之 | 阪神内燃機工業(株) | 木村 貢 | (株)マキタ |
| 竹内 房男 | (株)松井鉄工所 | 田中 一郎 | 三井造船(株) |
| 長面川 昇司 | 三菱重工業(株) | 折野 和昭 | ヤンマー(株) |

○ 小形高速機関技術委員会

委員長

鈴木 孝叔 ヤマハ発動機(株)

副委員長

福澤 健二 三菱重工業(株)

委員

| | | | |
|-------|------------------|-------|-------------|
| 今村 孝一 | (株)池貝ディーゼル | 伊藤 良雄 | いすゞ自動車(株) |
| 地道 信清 | キャタピラージャパン(株) | 佐藤 一博 | コマツディーゼル(株) |
| 大橋 英雄 | キャタピラージャパン(株) | 新井 満 | 新潟原動機(株) |
| 太田 普晶 | 三井造船マシナリーサービス(株) | 小倉 武士 | 三菱重工業(株) |
| 伊藤 壽彦 | ヤンマー(株) | 西村 昭人 | ヤンマー(株) |

3) 補助ボイラ部会

部会長

伊達 賢治 (株)大阪ボイラー製作所

委員

| | | | |
|-------|------------------|-------|------------------|
| 黒石 博雅 | オルボルグインダストリーズ(株) | 田尻 俊雄 | オルボルグインダストリーズ(株) |
| 川戸 俊之 | (株)大阪ボイラー製作所 | 花岡 克久 | トータスエンジニアリング(株) |
| 丹下 聖吾 | 三浦工業(株) | | |

4) ポンプ部会

部会長

筒井 幹治 (株)シンコー

委員

| | | | |
|-------|------------|-------|-------------|
| 石井 常夫 | (株)石井工作所 | 木村 晃一 | 大晃機械工業(株) |
| 中野 克彦 | (株)帝国機械製作所 | 隅田 和男 | (株)浪速ポンプ製作所 |

友藤 公雄 兵神機械工業(株)

○ポンプ業務委員会

委員長

梶山 隆生 (株)シンコー

委員

吉川 稔 (株)石井工作所

澄田 庄司 大晃機械工業(株)

吉田 久 (株)帝国機械製作所

野口 浩司 (株)浪速ポンプ製作所

伊藤 日出夫 兵神機械工業(株)

5) 冷凍・空調部会

部会長

島井 勝弘 日新興業(株)

委員

武内 真 潮冷熱(株)

中村 敏之 日新興業(株)

安江 昌彦 ジョンソントロールズ(株)

原田 正二 ダイキンMRエンジニアリング(株)

中村 重雄 ダイキンMRエンジニアリング(株)

○冷凍・空調業務委員会

委員長

武内 真 潮冷熱(株)

委員

越智 巧 潮冷熱(株)

原田 修一 ジョンソントロールズ(株)

林 繁寿 ダイキンMRエンジニアリング(株)

益 長生 日新興業(株)

○冷凍・空調技術委員会

委員

安部 庄吾 潮冷熱(株)

中野 隆 ジョンソントロールズ(株)

脇岡 健次 ダイキンMRエンジニアリング(株)

今若 英雄 日新興業(株)

6) 熱交換器部会

部会長

向井 利雄 昭和産業(株)

委員

松崎 徹 瀬戸内工業(株)

善村 康治 瀬戸内工業(株)

竹内 誠 (株)サクシオン瓦斯機関製作所

十万 幹雄 神威産業(株)

山下 耕三 山科精器(株)

田畑 久志 山科精器(株)

7) 配電盤部会

部会長

山田 信三 大洋電機(株)

委員

小田 雅人 渦潮電機(株)

藤田 真澄 (株)ジェー・アール・シー・エス

寺崎 泰造 寺崎電気産業(株)

8) 減揺装置部会

部会長

植木 修次 三井造船(株)

委員

中川 司 (株)ケーイーアイシステム

橋本 更 (株)五光製作所

松村 紀孝 (株)スタビロ

松本 隆弘 (株)大晃産業

佐藤 寛 第一電気(株)

山田 秀光 東京計器(株)

浮森 克彦 ナカシマエンジニアリング(株)

川下 浩一 富士産業(株)

金広 和彦 三井造船(株)

織田 博行 (株)三井造船昭島研究所

9) 甲板機械部会

部会長

土井 俊生 川崎重工業(株)

委員

篠原 敦 川崎重工業(株)

海老原 謙二 日本プスネス(株)

池田 智雄 日本プスネス(株)

松澤 憲雄 (株)福島製作所

佐藤 康明 (株)福島製作所

藤田 勝也 三菱重工業(株)

藤澤 保夫 眞鍋造機(株)

宮城 直也 眞鍋造機(株)

10) デッキクレーン部会

委員

(株)IHI

川崎重工業(株)

眞鍋造機(株)

11) ハッチカバー部会

委員

(株)相浦機械

イワキテック(株)

(株)共立機械製作所

(株)ナカタ・マックコーポレーション

12) プロペラ部会

部会長

板澤 宏 かもめプロペラ(株)

委員

石野 清 かもめプロペラ(株)

山口 泰裕 川崎重工業(株)

中島 基善 ナカシマプロペラ(株)

大田 敏博 ミカドジャパン(株)

近藤 精一 三河プロペラ(株)

藤田 勝也 三菱重工業(株)

13) 航海計器部会

部会長

山田 秀光 東京計器(株)

委員

新屋 民保 日本無線(株)

千種 成友 横河電子機器(株)

矮松 一磨 古野電気(株)

14) 計測器部会

部会長

瀬尾 玲児 大洋電機(株)

副部会長

山崎 秀樹 (株)ジェー・アール・シー・エス

委員

宇津木 洋三 (株)宇津木計器

渡辺 明典 渦潮電機(株)

本田 有志 (株)エヌゼットケイ

高橋 強 (株)倉本計器精工所

石水 裕之 寺崎電気産業(株)

笛木 隆 東洋エレクトロニクス(株)

木村 節朗 東京計器(株)

倉橋 正保 長野計器(株)

吉安 武彦 ナブテスコ(株)

林 安男 日本船用エレクトロニクス(株)

小林 辰也 日本無線(株)

鈴木 稔 布谷船用計器工業(株)

高野 進 双葉テック(株)

耕崎 洋二 古野電気(株)

西村 詔一 三鈴マシナリー(株)

長友 靖雄 ムサシノ機器(株)

村山 潤 (株)村山電機製作所

細川 成通 明陽電機(株)

藤元 秀信 (株)山武

平井 忠 郵船商事(株)

小高 利夫 横河電子機器(株)

15) 油水分離装置部会

部会長

| | | | |
|--------|-----------|-------|-----------|
| 友藤 公雄 | 兵神機械工業(株) | | |
| 委員 | | | |
| 塩見 裕 | (株)ササクラ | 橋本 馨 | (株)ササクラ |
| 宮澤 和規 | 大晃機械工業(株) | 橋本 善基 | 兵神機械工業(株) |
| 中野 克己 | フェロー工業(株) | 山口 光 | フェロー工業(株) |
| 石橋 乙彦 | 富士産業(株) | 川下 浩一 | 富士産業(株) |
| アドバイザー | | | |
| 岡村 敏 | (IMO関連) | | |

16) 汚水処理装置部会

部会長

竹尾 啓一郎 大晃機械工業(株)

委員

| | | | |
|--------|-----------|-------|----------|
| 河本 真作 | (株)ササクラ | 橋本 馨 | (株)ササクラ |
| 宮澤 和規 | 大晃機械工業(株) | 長山 英志 | (株)五光製作所 |
| 関根 伸次郎 | (株)五光製作所 | | |

(3) 事業別委員会

1) 船用工業シップリサイクル問題検討委員会

委員長

熊崎 治徳 大洋電機(株)

委員

| | | | |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 岡田 親幸 | 渦潮電機(株) | 関戸 常道 | 寺崎電気産業(株) |
| 澤田 浩一 | ヤンマー(株) | 薄井 康 | 日本無線(株) |
| 河上 隆司 | 大晃機械工業(株) | | |

アドバイザー

成瀬 健 (独)海上技術安全研究所

オブザーバー

大澤 雪雄 日本エニス・エケリュションズ(株)

2) 標準化推進委員会

委員

| | | | |
|-------|------------|--------|--------------|
| 増田 恵 | (社)日本船主協会 | 長屋 新之助 | 石川島造船化工機(株) |
| 小坂 和弘 | 住友重機械工業(株) | 山田 吉明 | 大晃機械工業(株) |
| 森 茂雄 | 大洋電機(株) | 常田 征三 | (株)田邊空気機械製作所 |
| 植田 眞義 | 寺崎電気産業(株) | 中島 義雄 | ナカシマプロペラ(株) |
| 池田 正孝 | 古野電気(株) | 正藤 浩一 | 日新興業(株) |

木戸 茂 幸 三井造船(株)

3) 艦船電気機器技術委員会

委員長

古田土 祐 司 森尾電機(株)

副委員長

窪 田 紀 幸 三菱重工業(株)

有識者

| | | | |
|---------|---------------|---------|------------|
| 衛 藤 俊士朗 | 東洋エレクトロニクス(株) | 栖 原 裕 | (株)大湊精電社 |
| 宝 金 一 雄 | 寺崎電気産業(株) | 川 本 龍 二 | 寺崎電気産業(株) |
| 品 川 篤太郎 | (株)北澤電機製作所 | 木 村 信 一 | (株)エヌゼットケイ |

委員

| | | | |
|---------|-------------------|---------|---------------|
| 霜 手 晃 | (株)アイ・エフ・アイ マシナイト | 河 口 浩 之 | (株)川崎造船 |
| 武 田 伸 一 | 佐世保重工業(株) | 宇都宮 健 | ユニバーサル造船(株) |
| 沖 野 耕 司 | ユニバーサル造船(株) | 平 口 龍 朗 | 三井造船(株) |
| 山 口 勝 弘 | 三菱重工業(株) | 新 宅 章 弘 | 伊吹工業(株) |
| 田 中 修 | (株)宇都宮電機製作所 | 山 本 豊 彦 | (株)エヌゼットケイ |
| 岸 健 雄 | 大石電機工業(株) | 岩 崎 武 司 | オリジン電気(株) |
| 楠 野 恵 弘 | (株)北澤電機製作所 | 伊 藤 昇 | (株)北澤電機製作所 |
| 辻 泰 孝 | 桑畑電機(株) | 山 末 孝 也 | (株)高工社 |
| 渡 邊 文 夫 | (株)湘南工作所 | 広 瀬 善 久 | 寺崎電気産業(株) |
| 加 藤 喜 男 | 東京計器(株) | 高 久 豊 | 東洋エレクトロニクス(株) |
| 渡 辺 幸 一 | (株)日本エレクトリック・インスト | 佐々木 康 雄 | 日本光機工業(株) |
| 平 堀 健 紘 | 日本船燈(株) | 帆 刈 明 夫 | 船用電球(株) |
| 竹 下 宏 | ムサシノ機器(株) | 籠 宮 茂 樹 | 明陽電機(株) |
| 高 橋 睦 友 | 横河電子機器(株) | | |

幹 事

| | | | |
|---------|-----------|---------|---------------|
| 飯 田 伸 一 | 大石電機工業(株) | 高 橋 善 孝 | (株)北澤電機製作所 |
| 定 森 豊 | 桑畑電機(株) | 小 橋 睦 生 | 東洋エレクトロニクス(株) |

○ 艦船検査共通仕様書小委員会

委員長

伊 藤 彰 ユニバーサル造船(株)

有識者

| | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 品 川 篤太郎 | (株)北澤電機製作所 | 木 村 信 一 | (株)エヌゼットケイ |
|---------|------------|---------|------------|

幹 事

| | | | |
|---------|-----------|---------|------------|
| 飯 田 伸 一 | 大石電機工業(株) | 高 橋 善 孝 | (株)北澤電機製作所 |
|---------|-----------|---------|------------|

| | | | |
|--------|---------------------|--------|---------------|
| 小橋 睦生 | 東洋エレクトロニクス(株) | 窪田 紀幸 | 三菱重工業(株) |
| 古田土 祐司 | 森尾電機(株) | 定森 豊 | 桑畑電機(株) |
| 委員 | | | |
| 浅野 邦彦 | (株)アイ・エイ・アイ マンユウテッド | 野田 仁 | 三菱重工業(株) |
| 安達 正人 | ユニバーサル造船(株) | 山本 豊彦 | (株)エヌゼットケイ |
| 百瀬 由和 | (株)エヌゼットケイ | 岸 健雄 | 大石電機工業(株) |
| 伊藤 昇 | (株)北澤電機製作所 | 澤田 亜矢子 | 東洋エレクトロニクス(株) |
| 吉成 淳 | 森尾電機(株) | | |

○ データブック小委員会

委員長

古田土 祐司 森尾電機(株)

有識者

栖原 裕 (株)大湊精電社

幹事

飯田 伸一 大石電機工業(株) 高橋 善孝 (株)北澤電機製作所

小橋 睦生 東洋エレクトロニクス(株) 窪田 紀幸 三菱重工業(株)

古田土 祐司 森尾電機(株) 定森 豊 桑畑電機(株)

委員

松浦 册子 (株)アイ・エイ・アイ マンユウテッド 西川 悟史 三井造船(株)

高橋 広明 ユニバーサル造船(株) 住 洋夫 ユニバーサル造船(株)

曾根 啓介 大石電機工業(株) 伊藤 昇 (株)北澤電機製作所

○ SDN小委員会

委員長

平口 龍朗 三井造船(株)

有識者

衛藤 俊士朗 東洋エレクトロニクス(株) 宝金 一雄 寺崎電気産業(株)

幹事

飯田 伸一 大石電機工業(株) 高橋 善孝 (株)北澤電機製作所

小橋 睦生 東洋エレクトロニクス(株) 窪田 紀幸 三菱重工業(株)

古田土 祐司 森尾電機(株) 定森 豊 桑畑電機(株)

委員

志田 直幸 (株)アイ・エイ・アイ マンユウテッド 福本 貴則 (株)川崎造船

渡邊 久晃 三井造船(株) 太壽堂 陽 三菱重工業(株)

窪山 隆典 三菱重工業(株) 田中 明 ユニバーサル造船(株)

高田 和良 ユニバーサル造船(株) 伊藤 昇 (株)北澤電機製作所

○ 環境対策小委員会

委員長

楠野 恵弘 (株)北澤電機製作所

有識者

川本 龍二 寺崎電気産業(株)

幹事

飯田 伸一 大石電機工業(株) 高橋 善孝 (株)北澤電機製作所

小橋 睦生 東洋エレクトロニクス(株) 窪田 紀幸 三菱重工業(株)

古田土 祐司 森尾電機(株) 定森 豊 桑畑電機(株)

委員

伊藤 昇 (株)北澤電機製作所 藤井 嘉己 寺崎電気産業(株)

オブザーバー

酒井 伸介 日立電線(株) 村山 元久 (株)フジクラ

清見 広和 (株)フジクラ

(4) 特別委員会

1) 技術開発評価委員会

委員長

大和 裕幸 東京大学

委員

岡田 博 東京海洋大学 鎌田 実 東京大学

高崎 講二 日本マシエンジニアリング学会 千田 哲也 (独)海上技術安全研究所

竹永 健次郎 川崎汽船(株) 水野 博介 三菱重工業(株)

2) PL特別委員会

委員長

河田 隆 西芝電機(株)

委員

福与 邦彦 かもめプロペラ(株) 山田 信一郎 三信船舶電具(株)

宮本 浩二 (株)シンコー 竹田 寿彦 ダイハツディーゼル(株)

朝原 登 ナカシマプロペラ(株) 大島 修 日新興業(株)

松井 正昭 (株)マツイ

(5) 協議会・研究会等

1) 模倣品対策協議会

幹事

| | | | |
|------|-----------|------|--------------|
| 梶山隆生 | (株)シンコー | 三好朋宏 | ダイハツディーゼル(株) |
| 酒井正広 | 大晃機械工業(株) | 後藤敏夫 | 新潟原動機(株) |
| 河野尚久 | 三井造船(株) | 外村佳久 | 三菱化工機(株) |
| 漆畑晃司 | 三菱重工業(株) | 杉山寿人 | ヤンマー(株) |

メンバー

| | | | |
|------|-------------------------|------|-------------------|
| 林清波 | アイエスマシナリーサービスリミテッド | 石井潤一 | (株)赤阪鐵工所 |
| 吉川稔 | (株)石井工作所 | 松尾公人 | 神奈川機器工業(株) |
| 大堀道雄 | 川崎重工業(株) | 吉川和彦 | 神戸発動機(株) |
| 山本純生 | コバルトイーグル・マリンエンジニアリング(株) | 北原厚生 | (株)サクシオン瓦斯機関製作所 |
| 柏原克敏 | 三信船舶電具(株) | 田邊茂 | (株)田邊空気機械製作所 |
| 松家俊夫 | ダイハツディーゼル(株) | 椿稔 | (株)ディーゼルユナイテッド |
| 吉田久 | (株)帝国機械製作所 | 岩崎保文 | (株)浪速ポンプ製作所 |
| 加藤恒俊 | 日新興業(株) | 小野智司 | ナブテスコ(株) |
| 小野亨 | JFEエンジニアリング(株) | 川元克幸 | 阪神内燃機工業(株) |
| 山本太郎 | (株)コンヒラ | 田中春夫 | 日立造船(株) |
| 竹代力 | 富士貿易(株) | 吉岡孝史 | 古野電気(株) |
| 本荘正之 | 兵神機械工業(株) | 大河利幸 | ボルカノ(株) |
| 大西正彦 | (株)松井鉄工所 | 瀧本亨 | 三井造船マシナリー・サービス(株) |
| 細川成通 | 明陽電機(株) | | |

2) 船用次世代経営者等会議(略称:次世代会)

幹事長

ト部 礼二郎 (株)神奈川機器工業

幹事

山田 沢生 (株)大洋電機
千種 成一郎 (株)日新興業

会員

| | | | |
|------|------------|------|------------|
| 新宅章弘 | (株)伊吹工業 | 小田茂晴 | (株)潮冷熱 |
| 小田雅人 | (株)渦潮電機 | 宇津木智 | (株)宇津木計器 |
| 本田有志 | (株)エヌゼットケイ | 大石哲也 | (株)大石電機工業 |
| 山下義郎 | (株)カシワテック | 松尾公人 | (株)神奈川機器工業 |

| | | | |
|---------|------------|---------|------------------|
| 今 田 徹 男 | 共和工業(株) | 木 内 稔 之 | (株)金剛ロレット製作所 |
| 高 木 健 一 | 三信船舶電具(株) | 近 藤 高一郎 | (株)ジェー・アール・シー・エス |
| 高 階 義 尚 | 高階救命器具(株) | 木 村 晃 一 | 大晃機械工業(株) |
| 藤 山 幸二郎 | (株)鷹取製作所 | 中 島 嵩 喜 | ナカシマプロペラ(株) |
| 木 下 和 彦 | 阪神内燃機工業(株) | 池 田 真 秀 | (株)ホーセイ |
| 藤 原 克 彦 | ヤンマー(株) | | |

6. 他団体の委員会等への参加状況一覧

○ 国土交通省

- ・我が国造船・舶用工業の今後の針路に係る研究会委員（赤阪会長）
- ・内航海運省エネ診断推進委員会委員（辻常務理事）
- ・第3回ものづくり日本大賞被表彰者選考会委員（赤阪会長）
- ・シップリサイクル検討委員会委員（辻常務理事）
- ・海事産業人材育成推進会議幹事会メンバー（森山事務局長）
- ・自動操舵装置適正使用促進検討会（宮山俊雄・東京計器㈱）

○ 経済産業省

- ・日本工業標準調査会標準部会船舶技術専門委員会臨時委員（澤田技術部長）

○ (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

- ・技術委員会委員（川上中形機関技術委員会委員長）

○ 日本内燃機関連合会

- ・理事（赤阪会長）
- ・往復動内燃機関JIS原案作成委員会委員（澤田技術部長）
- ・ISO/TC70（往復動内燃機関）国内対策委員会（澤田技術部長）
- ・ISO/TC70/SC8（往復動内燃機関/排気排出物測定）分科会委員（澤田技術部長）

○ (財) 日本海事協会

- ・評議員（赤阪会長）
- ・公平性委員会委員（辻常務理事）
- ・艀装専門委員会委員（澤田技術部長）
- ・機関専門委員会委員（澤田技術部長）
- ・品質委員会委員（山崎主任調査役）

○ (財) 日本舶用品検定協会

- ・理事（石橋副会長）
- ・製品認証評価委員会委員（辻常務理事）
- ・バラスト水管理システムの認証に係る調査研究に関する検討委員会委員（澤田技術部長）

○ **(財) 日本船舶技術研究協会**

- ・ 理事（副会長）（赤阪会長）
- ・ 評議員（板澤副会長）
- ・ 評議員（北村専務理事）
- ・ 標準部会委員（辻常務理事）
- ・ 船舶技術戦略委員会委員（赤阪会長）
- ・ シップリサイクル委員会委員（澤田技術部長）
- ・ シップリサイクル委員会／ISO作成ワーキンググループ委員（神内技術部課長代理）
- ・ GHG対策ワーキンググループ委員（薦田哲男・三井造船株）
- ・ GHG排出削減技術の普及に関するインフラ委員会委員（辻常務理事）
- ・ 代替燃料インフラワーキンググループ委員（辻常務理事）
- ・ 2009年度e-Navigation戦略の実施に関する調査研究委員会委員（森 正幸・古野電気株）
- ・ 2009年度船舶の大気汚染防止に係る基準に関する調査研究（大気汚染プロジェクト）委員（澤田技術部長）
- ・ 2009年度船舶の大気汚染防止に係る基準に関する調査研究（大気汚染プロジェクト）委員（鈴木孝叔・ヤマハ発動機株）
- ・ 2009年度船舶の大気汚染防止に係る基準に関する調査研究（大気汚染プロジェクト）委員（川上雅由・新潟原動機株）
- ・ 2009年度船舶の大気汚染防止に係る基準に関する調査研究（大気汚染プロジェクト）委員（田中春夫・日立造船株）
- ・ NOx 3次規制対応機関室設計ガイドライン作成委員会委員（磯部技術部担当部長）
- ・ NOx 3次規制対応機関室設計ガイドライン作成委員会委員（高畑泰幸・ヤンマー株）
- ・ 2009年度救命及び防火分科会（兼 防火検討会）委員（坂井重郎・株カシワテック）

○ **(財) 日本海事広報協会**

- ・ 理事（赤阪会長）

○ **(財) 日本造船技術センター**

- ・ 理事（赤阪会長）
- ・ 評議員（北村専務理事）

○ **(社) 日本船用機関整備協会**

- ・ 理事（北村専務理事）
- ・ 船用機関整備士資格検定委員会委員（澤田技術部長）

○ **(社) 日本船舶電装協会**

- ・ 船舶電気装備安全対策研究委員会委員 (辻常務理事)

○ **(社) 日本機械工業連合会**

- ・ 参与 (北村専務理事)
- ・ 経営課題研究委員会労働安全衛生部会委員 (森山事務局長)
- ・ 事業基盤研究委員会委員 (山崎主任調査役)
- ・ 技術開発研究委員会委員 (村上調査役)
- ・ 経営課題研究委員会委員 (井上主任調査役)
- ・ 循環型社会研究委員会委員 (井上主任調査役)

○ **(社) 日本マリンエンジニアリング学会**

- ・ 船用ディーゼル機関から排出されるPMに関する調査研究委員会委員 (磯部技術部担当部長)

○ **(独) 海上技術安全研究所**

- ・ 評価委員会評価委員 (大津正樹・三井造船株)

○ **石油連盟**

- ・ 船用燃料油ISO規格検討会委員 (近藤守男・三井造船株)
- ・ 船用燃料油ISO規格検討会委員 (近藤博美・ダイハツディーゼル株)
- ・ 船用燃料油ISO規格検討会委員 (澤田技術部長)

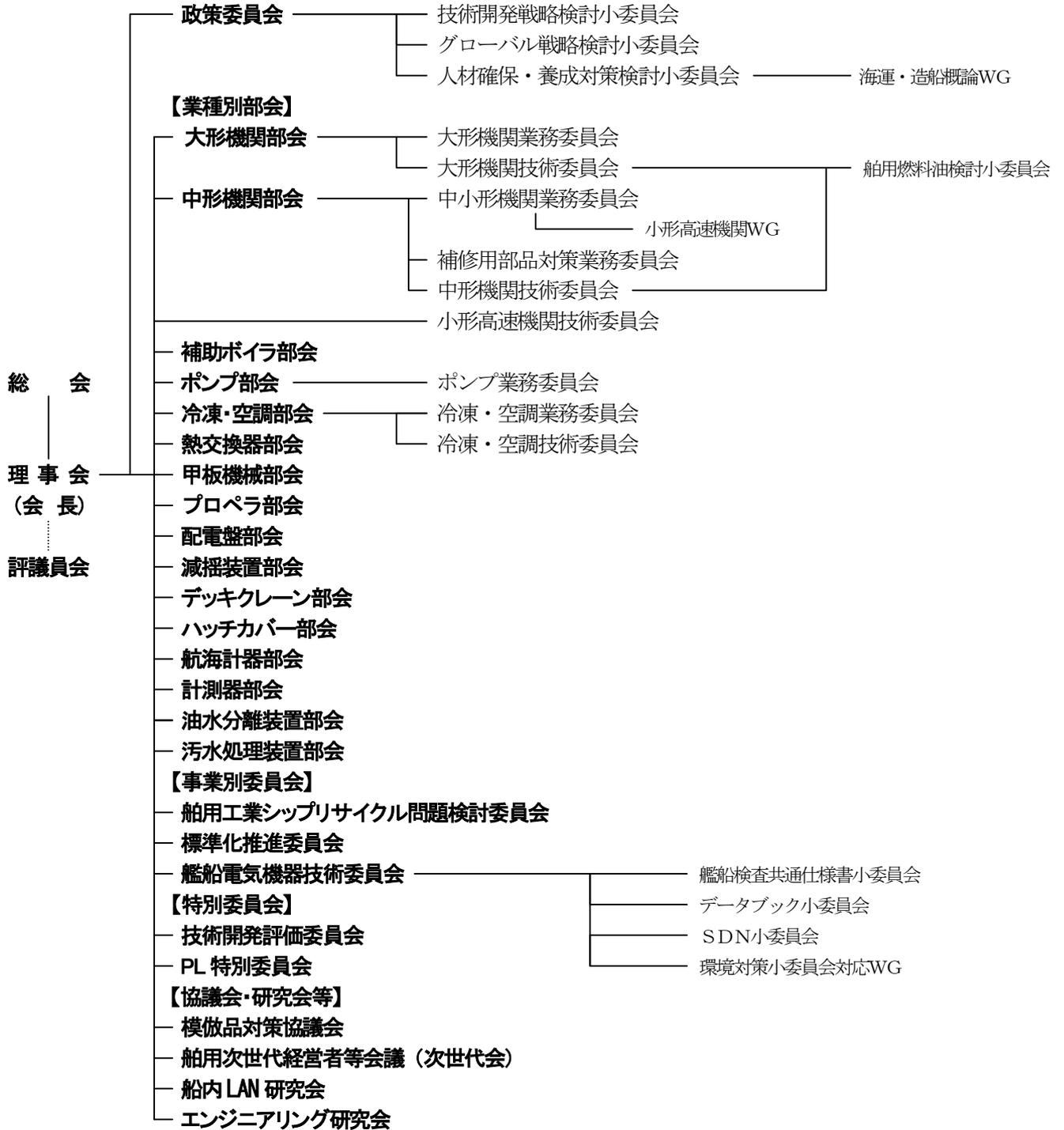
○ **交通エコロジー・モビリティ財団**

- ・ 旅客船バリアフリー化評価に関する調査研究委員会委員 (澤田技術部長)

(注：平成21年度に当会役職員、並びに当会会員が他団体の委員会の等の委員に就任したものを記載した。)

7. 機構図

(平成22年3月31日現在)



8. 事務局組織及び事務分掌図

(平成22年3月31日現在)

